

# 金沢区総合庁舎改築工事 (第2工区建築工事)

平成28年8月

株式会社 国設計

図面目録							
意匠図		意匠図		構造図			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-000	表紙	A-045	EXP. J詳細図 (1) 免震用	S-C01	構造設計標準仕様		
A-001	図面目録	A-046	EXP. J詳細図 (2) 免震用	S-C02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)		
A-002	特記仕様書 (1)	A-047	EXP. J詳細図 (3)	S-C03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)		
A-003	特記仕様書 (2)	A-048	部分詳細図 (1) 壁・床	S-C04	梁貫通孔補強材設計・施工標準仕様書		
A-004	特記仕様書 (3)	A-049	部分詳細図 (2) 建具枠	S-C05	杭伏図・杭リスト		
A-005	特記仕様書 (4)	A-050	部分詳細図 (3)	S-C06	基礎伏図・1階床伏図		
A-006	特記仕様書 (5)	A-051	ウッドデッキ 平面図	S-C07	2階床伏図・R階床伏図		
A-007	特記仕様書 (6)	A-052	ウッドデッキ 詳細図	S-C08	軸組図 (1)		
A-008	特記仕様書 (7)	A-053	サイン配置図	S-C09	軸組図 (2)		
A-009	工事区分表 (1)	A-054	サイン詳細図 (1)	S-C10	基礎リスト (1)		
A-010	工事区分表 (2)	A-055	サイン詳細図 (2)	S-C11	基礎リスト (2)		
A-011	案内図・配置図	A-056	カウンター等詳細図	S-C12	地中梁断面リスト		
A-012	敷地面積求積図	A-057	手摺 配置図	S-C13	柱・小梁断面リスト		
A-013	平均地盤面算定図	A-058	手摺 詳細図	S-C14	大梁断面リスト		
A-014	面積表・建築面積・床面積求積図	A-059	アルミ庇パネル詳細図	S-C15	スラブリスト・壁リスト		
A-015	共通事項・外部仕上表	A-060	手摺改修図	S-C16	b Y4通り配筋詳細図		
A-016	内部仕上表 (1)			S-C17	雑配筋図		
A-017	内部仕上表 (2)	参-001	仮設計画図 (1) (工事着手前配置図)	S-C18	雑詳細図		
A-018	1階ピット・1階平面図	参-002	仮設計画図 (2) (仮囲い等参考図)				
A-019	2階・R階平面図	参-003	ピット平面図				
A-020	立面図 (1)	参-004	1階平面図				
A-021	立面図 (2)	参-005	2階平面図				
A-022	断面図	参-006	3階平面図				
A-023	矩計詳細図 (1)	参-007	4階平面図				
A-024	矩計詳細図 (2)	参-008	5階平面図・客席天井内平面図				
A-025	中央外階段詳細図	参-009	屋根伏図				
A-026	1階平面詳細図						
A-027	1階展開図 (1)						
A-028	1階展開図 (2)						
A-029	2階平面詳細図 (1)						
A-030	2階展開図 (1)						
A-031	2階展開図 (2)						
A-032	2階展開図 (3)						
A-033	R階平面詳細図						
A-034	天井伏図						
A-035	建具配置図						
A-036	建具 共通事項						
A-037	建具表						
A-038	建具詳細図 (LD・移動間仕切壁)						
A-039	和室詳細図						
A-040	行政棟 1階取合い部 詳細図						
A-041	行政棟 2階・3階取合い部 詳細図 (1)						
A-042	行政棟 2階・3階取合い部 詳細図 (2)						
A-043	行政棟・公会堂取合い部 詳細図						
A-044	EXP. J キープラン						

横浜市建築工事特記仕様書(平成27年版)	
1 工事名称	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
2 工事場所	横浜市金沢区泥亀二丁目76番地1
3 地域・地区	商業地域、基準建ぺい率 80%、基準容積率 400% (第7種高度地区) (○)防火 ・準防火 ・指定なし )
4 建物概要	
(1) 敷地面積	7,143.87㎡ (全体の敷地面積)
(2) 建築面積	664.55㎡
(3) 延床面積	1,048.36㎡
(4) 構造	RC造
(5) 階数	2階
工事範囲	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区電気設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(舞台音響・映像設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(舞台照明設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区昇降機設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区空調設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区衛生設備工事)

特記仕様書の取り扱い (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。  
○ 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。  
○ 印と ※ 印の付いた場合は共に適用する。  
(3) 特記事項に記載の ( ) 内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(以下「標仕」という。)の項目番号及び表番号を示す。  
(別は、標仕巻末の別図を示す。)

章	項目	特記事項
1 一般事項	① 適用基準等	本特記仕様書によるほか下記による。 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版) [平成26年3月改定] 国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築工事標準詳細図(平成22年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部 公共建築木造工事標準仕様書(平成25年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部 横浜市建築局建築工事特則仕様書(最新版) (以下「特則仕様書」という。) 営繕工事写真撮影要領(平成24年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部
	② 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
	③ 設備工事との施工区分	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁、天井仕上材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付箇所の切込み及び補強 ○その他(工事区分表(1)(2)による) 施工図 ※設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	④ 工事実績情報の登録	※行う ・行わない (1.1.4) コリンズ工事実績情報システムによる「メール送付の承諾」 ※する ・しない
	⑤ 建築基準法に基づく区分	※建築基準法に基づき定められる風圧区分等 ・8章 ・9章 ・10章 ・13章 ・14章 ・16章 ・17章 ・23章 ○風速 (Vo= ※34m/s ・ m/s) ○地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ) ○垂直積雪量 (※30cm ・ cm)
	⑥ 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)
	7 (1.3.5)(a)以外の施工条件	・ (1.3.5)
	⑧ 施工中の安全確保	横浜市工事安全管理規則による安全管理指定工事 ・指定する ○指定しない (1.3.7)

9 発生材の処理等

本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年5月31日法第104号)」(以下「建設リサイクル法」という。)の対象建設工事であり、特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難しい場合は、監督員と相談する。再資源化の完了時に以下の事項を書面にて監督職員に報告する。  
記載内容 再資源化等が完了した年月日  
再資源化等をした施設の名称及び所在地  
再資源化等に要した費用  
再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び施設等 (1.3.8)

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化する施設の名称及び所在地
○コンクリート	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○建設発生木材	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
・アスファルト	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設

特定建設資材廃棄物以外の発生材の処分

種類	再資源化	所在地
・する ・しない	・する ・しない	
・現場において再利用を図るもの	・有( ) ・無( )	
・引渡しを要するもの	・有( ) ・無( )	
・特別管理産業廃棄物	・有( ) ・無( )	
・同上処理方法	・有( ) ・無( )	
○建設汚泥の処分	・有( ) ・無( )	

建設汚泥の処分については、次のとおりである。  
・受入場所 市 区 町 番地  
・運搬距離 L= km  
・受入条件 時 ~ 時  
月 日 ~ 月 日及び日曜、祝日または、 曜日を除く。

・セメント及びセメント系固着材を地盤改良に (1.3.11) 使用する。若しくは、セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を再利用する。  
本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり下記に示す工種について、六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。  
なお、試験方法はセメント及びセメント系固着材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領(案)(平成13年4月20日国官技第16号国営建第1号別紙以下「要領」という。)によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数:

工種	工法	配合計画段階	施工後段階
地盤改良工	固結法	検体	検体
		検体	検体
舗装工	舗装工各種	検体	検体
		検体	検体
仮設工	地中連続壁	検体	検体
		検体	検体
合計 検体			

タンクリーチング試験(改良土量5000㎡程度以上または改良体本数500本程度以上)対象工種名及び検体数:

工種	工法	施工後段階
地盤改良工	固結法	検体
		検体
舗装工	舗装工各種	検体
		検体
仮設工	地中連続壁	検体
		検体
合計 検体		

11 材料の品質等

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークのない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(6)の事項を満たすものとする。(1.4.2)

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定または免許を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質および性能を有することの証明となる資料、または外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
また備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は使用する場合は監督職員の承諾を得ること。

12 木材又は木材を原料とする資材

本工事に使用する木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、神奈川県産木材又は地域材(関東甲信地方に属する都県及び静岡県で生産された素材等)を利用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督員に報告する。ただし、神奈川県産材又は地域材とすることが困難な場合には、監督員の承諾を受けた国産材とする。

木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用する。

13 特別な材料の工法

「標仕」に記載されていない特別な工法は、材料製造所の指定する工法とする。

14 空気汚染低減措置

※適用する ・適用しない (1.4.1)

化学物質	建築材料等	性能
ホルムアルデヒド	①合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材(下地材含)	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	②作り付け家具 作り付け書架 実験台	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	③ウリア樹脂	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
④壁紙 ⑤木工事、内装工事に使用する接着剤 ⑥保温材、防露材 ⑦断熱材 ⑧仕上塗材		※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ※⑤は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 また、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているJIS規格品とする。 ※⑦は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。
	⑨木材保存(木材の防霉・防蟻処理)剤	※クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノフルカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。

※ 工事中の安全管理  
接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に放散した化学物質等を室外に放出させる。

15 技能士 (1.5.2)

適用工事種別	技能検定の種類
鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	○型枠施工
鉄骨工事	○とび
組積工事	・ブロック建築 ・エーエルシーパネル施工
防水工事	○アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り作業)
タイル工事	○タイル張り
木工事	○建築大工
屋根及びといた工事	○建築板金(内外装板金作業)
金属工事	○内装仕上施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
内装工事	・内装仕上施工(カーペット系床仕上げ工事作業) ○内装仕上施工(ボード仕上げ工事作業) ・畳製作
植栽工事	・造園

16 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

※実施する ・実施しない  
測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所は「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」(平成24年版)による。

17 中間技術検査 (1.6.2)

中間技術検査を実施する段階  
○杭工事 ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・型枠工事  
・鉄骨工事 ・基礎コンクリート打設前 ・2階床コンクリート打設前 ・その他 ( )  
中間技術検査実施回数  
※1回。ただし、施工状況により、追加する場合がある。

18 完成時の提出図書 (1.7.1)

※作成する (完成図書・保全に関する資料の作成は特則仕様書による)  
・作成しない  
横浜市公共建築物保全システム施設台帳・カルテ作成 (1.7.3)  
※作成する ・作成しない

19 完成図の様式等 (1.7.2)

原因の作成方法 ※CAD  
CADデータの提出 ※提出する ・提出しない

20 完成写真 (1.7.2)

※デジタルデータで提出する  
(提出方法は営繕工事写真撮影要領に準ずる)  
○200万画素(キャビネ判)程度以上  
○400万画素(A4版)程度以上

○下記のものを監督員に提出する。  
○アルバム300×300、黒表紙文字を4  
(○施設管理者 ○発注者 ○工事担当課 ○設計事務所)

分類・規格	撮影箇所	
	外部	内部
※カラー ※キャビネ版	※4箇所	○20箇所
・工事用アルバム A4版 冊提出		
分類・規格	撮影箇所	
	外部	内部
※L版	※4箇所	

完成写真の使用については、横浜市(建物所有者)の発行する印刷物等(広報誌など)に限り、使用を認めるものとする。  
撮影業者  
※監督員の承諾する撮影業者(建築完成写真撮影の実績のあるもの)とする。  
・指定しない

21 電子納品

※対象工事とする  
○工事記録写真 ○施工図 ○完成図 ○製作図  
○打合せ記録 ・その他 ( )  
・対象工事としない

22 ワンデーレスポンス  
23 その他

※対象工事とする ・対象工事としない

横浜市建築局		工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)	
年月日	平成28年8月	縮尺	NO.SCALE	
図面名称	建築工事特記仕様書(その1)			
設計者	株式会社 国設計	施設番号	棟番号	完成年度
図面番号	166404号 吉村久夫	固有番号	固有番号	固有番号
				A-002





Construction specification form with multiple sections for materials and work methods. Includes tables for tile specifications, insulation details, and material properties.

3 防蟻・防蟻・防虫処理	造作用単板積層材 (12.2.1(d)) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	2 折板葺	⑧ アルミニウム製 笠木	⑩ 手すり及びタラップ	10 その他	4 マスチック塗材塗り	5 ロックウール吹付け	6 その他			
	床張り用合板等 (12.2.1(e)) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ ⑩	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳				⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
4 木材	① 一般事項 (14.1.3)	② ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)	④ 鉄鋼の垂れめつき (14.2.3)(表14.2.2)	⑤ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)	⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)	⑦ 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)	⑧ 防火戸 (16.1.3)	⑨ 見本の製作等 (16.1.4)	⑩ 防犯建物部品 (16.1.6)	⑪ アルミニウム製 建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
5 その他	⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
13 屋根及び工事	① 長尺金属板葺 (13.2.2)(表13.2.1)	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	

Main table containing technical specifications for building materials and components, organized into columns for different material types and their respective standards.

Project information table including: 横浜市建築局 (Yokohama City Construction Bureau), 工事名 (Project Name), 図面名称 (Drawing Name), 年月日 (Date), 縮尺 (Scale), NO.SCALE, 設計者 (Designer), 株式会社 国設計 (Kokusei Design Co., Ltd.), and A-006.

1 防火材料

2 素地ごしらえ

3 錆止め塗料塗り

4 塗装

5 防塵用塗料塗り

6 その他

指定する 施工箇所 図面による (18.1.3)

指定しない

木部の素地ごしらえの種類 (18.2.2)

- A種
- B種

鉄鋼面の素地ごしらえの種類 (18.2.3)

- A種
- B種
- C種

亜鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)

種類	施工部位及び塗料種類
A種	鋼製の種具および2液型ポリウレタンエナメル塗り 常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下地塗りに変成エポキシ樹脂塗料塗りの場合

その他の素地ごしらえの種類

※「標仕」18.2.2から18.2.7(18.2.4除く)による。

- 施工箇所( )
- 下地材( )
- 種類( )

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ(18.2.5) (表18.2.4)の種類

- B種
- A種

コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえの種類 (18.2.6)

- B種
- A種

せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ(18.2.7)の種類

- A種
- B種

18.3.2~18.3.3) (表18.3.1~18.3.4)

塗装面	塗料種類	工程種類	備考
鉄鋼面	屋外 ※A種	A種	B種
	屋内 ※A種	B種	
亜鉛めっき面	屋外 ※A種	A種	B種
	屋内 ※A種	B種	
EP-G	屋外 ※A種	A種	B種
	屋内 ※A種	B種	
EP-G	屋外 ※A種	A種	B種
	屋内 ※A種	B種	

耐火材吹付けなど、被覆材が接着する面への塗装 (7.8.3)

行わない

- 行う
- 適用箇所
- 図示による( )
- 塗料の種類
- 「標仕」18.3.2表18.3.1( )種
- 「標仕」18.3.2表18.3.1( )種

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 (18.4.2)

※1種

18.4.2~18.14.2) (表18.4.1~18.14.1)

塗装の種類	塗装面	種類
合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部	A種 B種
クリアラッカー塗り(OL)	鉄鋼面	A種 B種
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	木部	A種 B種
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	コンクリート面	A種 B種
モルタル面		
耐候性塗料塗り(DP)	コンクリート面、押出成形セメント板面	A種 B種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	A種 B種
合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	鉄鋼面	A種 B種
コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面		
合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面	A種 B種
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	木部	A種 B種
ラッカーエナメル塗り(LE)	木部	A種 B種
木材保護塗料塗り(WP)	木部	A種 B種

材質 ※水性アクリル系樹脂塗料

- 水性ウレタン系樹脂塗料

表面仕上げ 平滑 防滑

1 ビニル床シート張り

2 ビニル床タイルおよびゴム床タイル張り

3 特殊機能床材張り

4 ビニル幅木

5 カーペット敷き

タイルカーペット (19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※FS	※無地	※2.0
・発泡層のあるもの	・	・マーブル柄	・2.5
・柄物			

工法 ※熱溶接工法

- 突付け工法

(施工箇所：図示による)

種類 (19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	KT	※2.0	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	KT		
・単層ビニル床タイル	TT		
・複層ビニル床タイル	FT		
・ゴム床タイル			

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (19.2.2)

帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下
・単層ビニル床タイル	※4.0	または漏洩抵抗値(JIS A1454による)
・複層ビニル床タイル	4.5	1.0×10 <sup>10</sup> Ω未満

視覚障害者誘導用床タイル (19.2.2)

箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	塩化ビニル製	※300×300	※7
	磁器又はせつ器質タイル		
屋外	レジンコンクリート製	※300×300	※30
	磁器質タイル		

ブロックパターンは JIS T9251による。

耐動荷重性床シート (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	備考

防湿性床シート、床タイル (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能

材質 (19.2.2)

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)
※軟質	※1.5以上	※60
・硬質		・75
		・100

織じゅうたん (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1~19.3.4)

種類	パイル形状	色柄等	帯電性	工法
A種	カットパイル	※単一色(無地)	人体帯電圧	※グリッパ
B種	ループパイル	・柄物(標準品)	※3kV以下	工法(下敷き材共)
C種	カット、ループ併用			

タフテッドカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

パイル形状	パイル(mm)長	帯電性	工法
・カットパイル	※5~7	人体帯電圧	※全面接着工法
・マルチレベルループ	※4~6	※3kV以下	・グリッパ工法(下敷き材共)
・レベルループパイル	※4		
・カット、ループ併用			

ニードルパンチカーペット (19.3.3) (表19.3.2)

厚さ(mm)	帯電性
	人体帯電圧 ※3kV以下

6 合成樹脂塗床

7 フローリング張り

8 畳敷き

9 せっこうボードその他ボードおよび合板張り

タイルカーペット (19.3.3) (表19.3.2)

種類	パイル形状	電気抵抗値(Ω)	寸法	総厚さ
※第一種	※ループパイル	※適用しない	※500mm角	※6.5mm
・第二種	・カットパイル	・10 <sup>9</sup> Ω以下	・	・

タイルカーペットの敷き方 (19.3.4)

- 平場 ※市松敷き
- 階段部分 ※横様流し

下敷き材(JIS L3204) (19.3.3)

※第2種2号 ※呼び厚さ 8mm

見切り、押え金物の材質、種類及び形状 (19.3.3)

※図面による

仕上げの種類 (19.4.2) (19.4.3) (表19.4.1~19.4.7)

種類	仕上の種類
弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ
	・防滑仕上げ
	・つや消し仕上げ
エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流し展べ仕上げ(※平滑・防滑)
	・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑・防滑)
	・樹脂モルタル仕上げ(※平滑・防滑)
	・駐車場専用防滑性エポキシ樹脂系
	パーキングガード水性 ABC商会、または同等品

単層フローリング (19.5.2~19.5.6) (表19.5.1~19.5.6)

品名	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工法
・フローリングボード	※なら	15	幅75 長さ500以上	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法)
・フローリングプロック	※なら	※15	※303×303	・釘留め工法(直張り工法)
				・接着工法

天然木化粧合板フローリング (19.5.2~19.5.5) (表19.5.1~19.5.5)

品名	樹種	防湿処理	工法	種別
・複合1種	※なら	・行う	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法)	・A種
・複合2種			・釘留め工法(直張り工法)	・B種
・複合3種			・接着工法	※C種

基材：県産材

メーカー：北海道パークケット HPキャンパス15

または同等品

フローリング裏面の緩衝材(接着工法) (19.5.5)

合成樹脂発泡シート (19.5.7)

フローリングの塗装

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステイン塗りの上、ワックス塗り

・生地そのままワックス塗り

畳の種別 (19.6.2) (表19.6.1)

畳の種別	A種	B種	C種	D種

畳床：KT-III

せっこうボードその他ボードおよび合板張り (19.7.2) (表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15
・普通木毛セメント板	NW	・20
		・25
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(無石綿) ・5
		・6
		・8
		・10
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9
		・12
		・凹凸タイプ(※12
		・15
		・19
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		※フラットタイプ((個)不燃)
		凹凸タイプ(※12
		・15
		((個)不燃)
・せっこうボード	GB-R	12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NG	9.5(不燃)
		化粧無(下地張り用)
		化粧有(トラパーチン模様)
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	12.5(不燃)
		9.5(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5

10 壁紙張り

11 断熱・防露

12 その他

化粧せっぽうボード(木目) GB-D 12.5(不燃) 幅440mm程度

模様(※柱目・板目)

専用下地材付き

JIS K6903による 厚さ1.2

メラミン樹脂化粧板 MDF

ミディアムデンシティファイバボード

パーティクルボード

繊維混入石膏板(FGボード) FG-B

・8 (かさ密度：1.6g/cm3)

種類	表板の樹種名	板面の品質	防虫処理	厚さ(mm)	その他
・普通合板	・ラワン			・5.5	
	・しな			・9	
・構造用合板				・5.5	
				・9	
・天然木化粧合板				・12	
				・3.2	
				・4.2	
				・6.0	

種類	化粧加工の方法	表面性能	防虫処理	厚さ(mm)	その他
・特殊加工化粧合板	・オーバーレイ			・5.5	
	・プリント			・5.5	
	・塗装			・5.5	

接着の程度、防虫処理、難燃処理、防炎処理

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) (表9.6.1)

- アクリル系
- ウレタン系
- ジョイントコンパウンド

壁紙の種類 (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火性能の級別	品質等
和室	紙 織物	・不燃	・準不燃
	ビニル	・難燃	・準不燃
	化学繊維	・難燃	・難燃
	無機質	・難燃	・難燃

壁紙のホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)

※F☆☆☆☆

素地ごしらえ (19.8.3) (18.2.5) (表18.2.5) (表18.2.7)

- モルタル、プラスター面
- ※B種
- A種 (施工箇所： )
- せっこうボード面
- ※B種
- A種 (施工箇所： )

断熱材打込み工法 (19.9.2) (19.9.3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板	・1号	・25	特定フロンを使用しないもの
	・2号	・25	特定フロンを使用しないもの
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキん層付)	・接合部分	
・硬質ウレタンフォーム保温板	・1種	・25	特定フロンを使用しないもの
	・2種 号	・25	特定フロンを使用しないもの
・フェノールフォーム保温板	・1種 号	・25	特定フロンを使用しないもの
・吹付け硬質ウレタンフォーム	・A種1	※一般部	特定フロンを使用しないもの
		・15	難燃性
			※3級
			・2級

断熱材現場発泡工法 (19.9.3)

※硬質ウレタンフォームA種1

- 厚さ 30mm

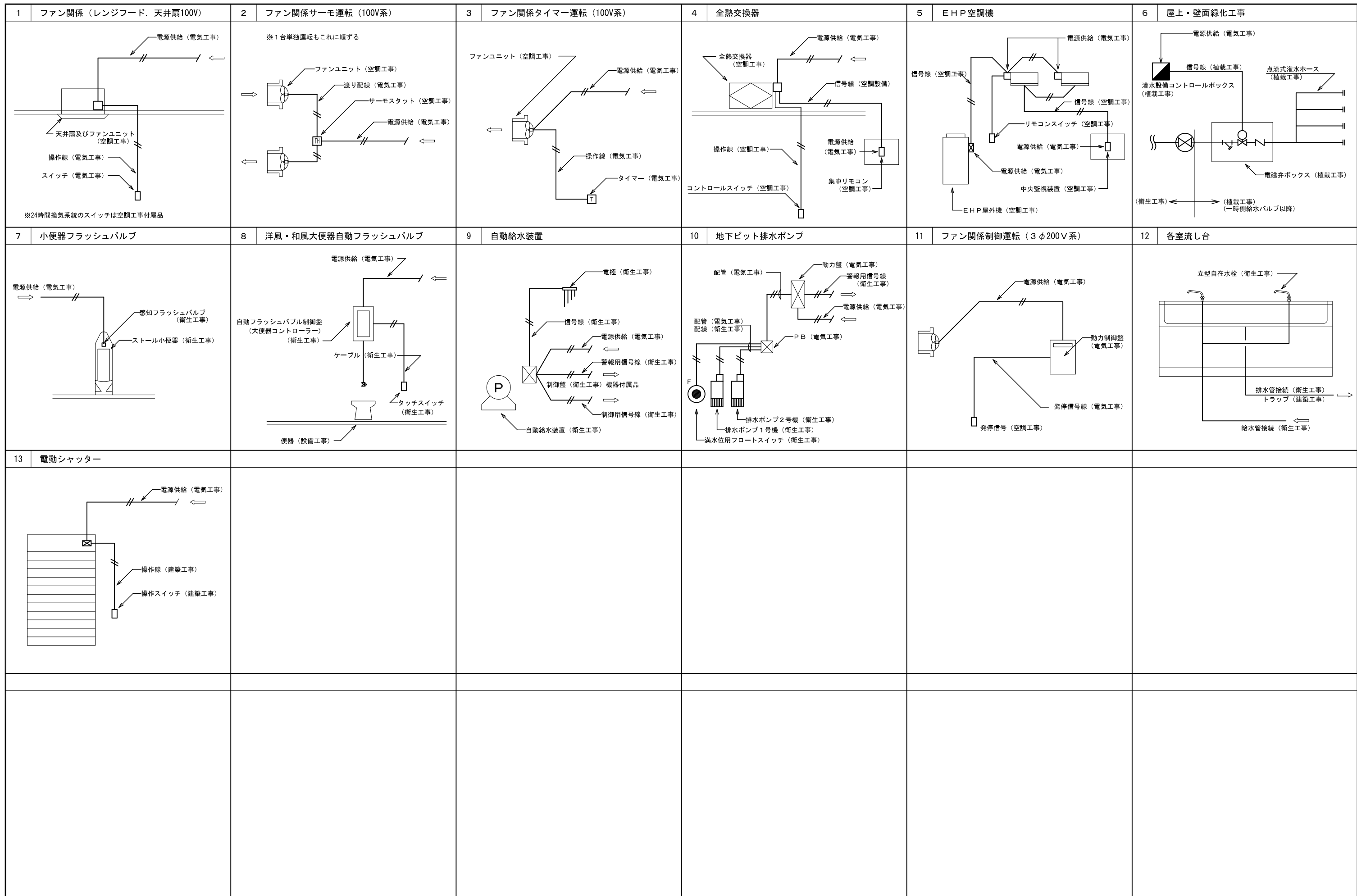
特殊塩ビシート：住友3M「ダイノックフィルム ファインウッド」または同等品

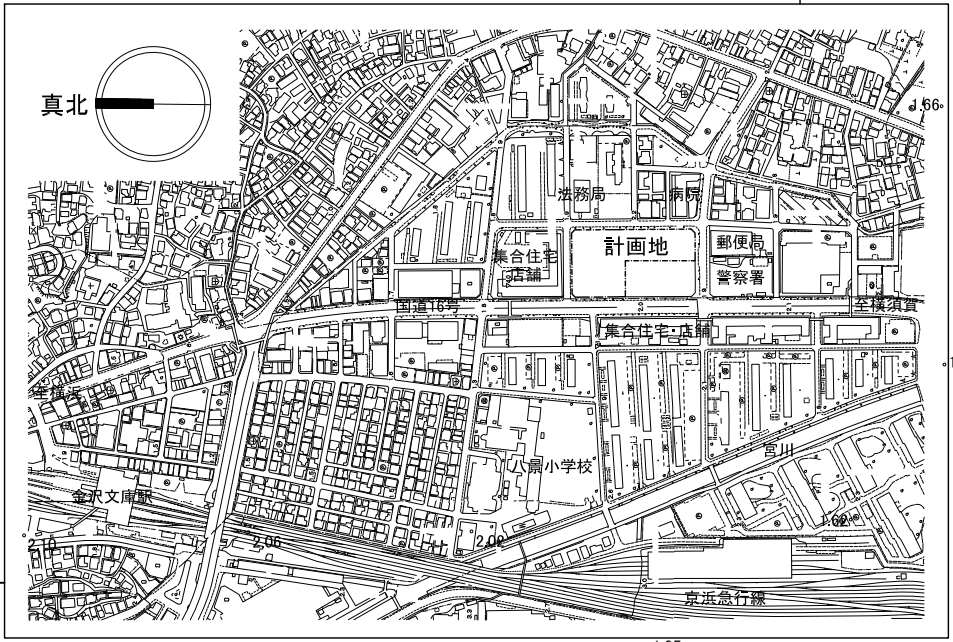
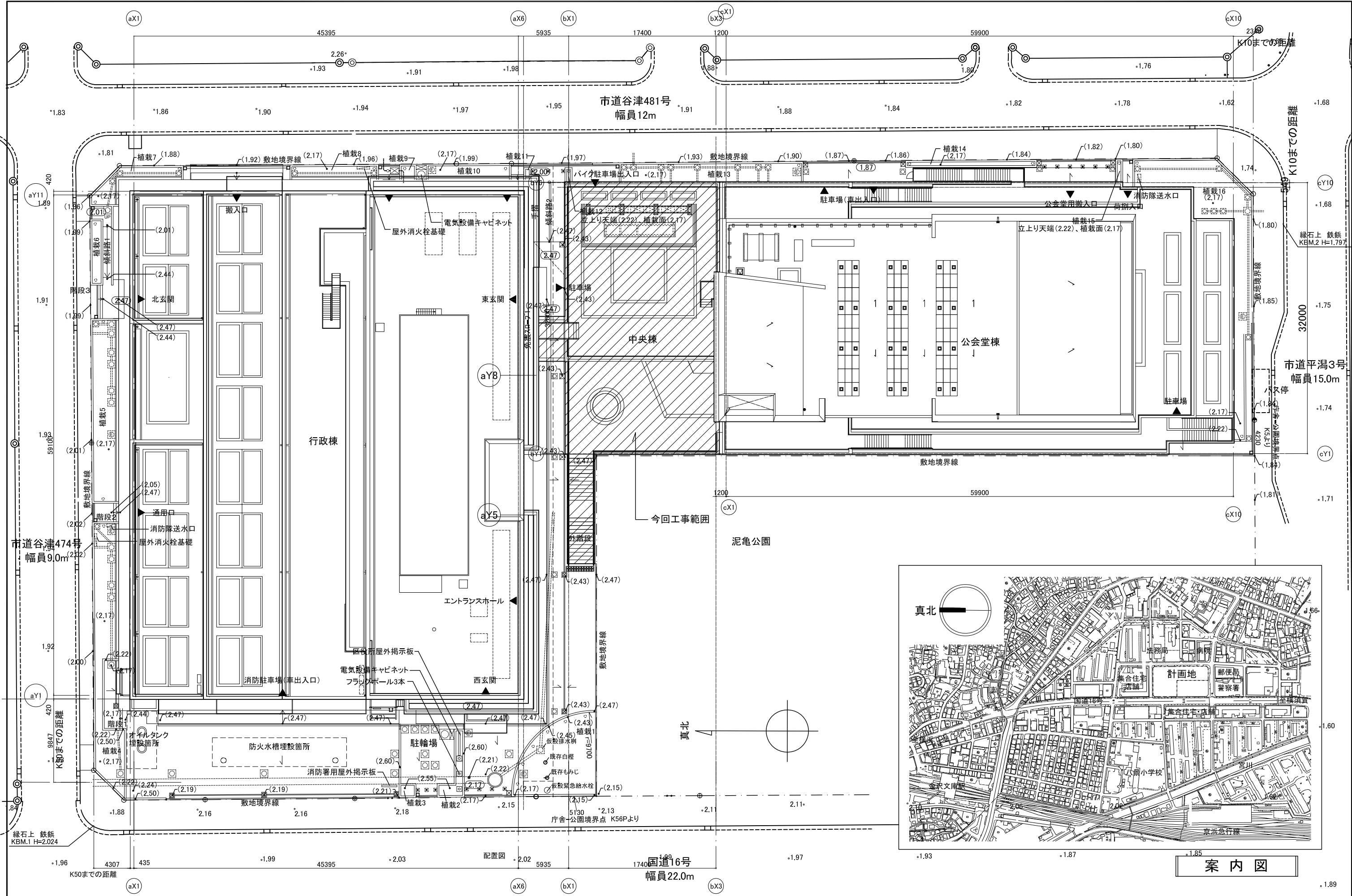
横浜市建築局				工事名	全沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)				
年月日	平成28年8月	縮尺	NO.SCALE	図面名称	建築工事特記仕様書(その6)				
設	計	者		施設番号	棟番号	完成年度	図面種類	固有番号	図面番号
				株式会社 国設計					A-007
				一級建築士登録 166404号 吉村久夫					

20 ユニットおよびその他工事	① フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>仕上り高 (mm)</th> <th>適用地震時水</th> <th>耐荷重性能</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>調整室</td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td>100</td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td></td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td></td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、「標仕」19章内装工事によるスロープおよびポーター ※製造所の標準仕様 図示コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) ・コンセントの箇所数は図示 配線用取り出しパネル 配線取り出し開口: パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1か所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30パーセント</p> <p>空調用吹き出しパネル ※無し ・あり (※固定式 ・可変式 : 施工箇所は図示)</p>	施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時水	耐荷重性能	表面仕上げ材	調整室	パネル工法・溝構法	100	1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット	⑨ ブラインド (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ヘッドボックス、ボトムレールの材質</th> </tr> <tr> <td>横型</td> <td>ギア式・コード式・操作棒式</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> </tr> <tr> <td>縦型</td> <td>1本操作コード・2本操作コード</td> <td>アルミスラット・クロススラット</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> <p>防炎性能表示あり (20.2.13) 操作方式、幅、高さ</p>	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質	横型	ギア式・コード式・操作棒式	アルミニウム合金製	※25	※鋼製	縦型	1本操作コード・2本操作コード	アルミスラット・クロススラット	100		21 屋外雨水排水工事	※図面および横浜市環境創造局「横浜市排水設備要覧」による	23 植木の植栽基盤整備	芝および地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)
	施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時水	耐荷重性能	表面仕上げ材																																									
	調整室	パネル工法・溝構法	100	1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質																																										
	横型	ギア式・コード式・操作棒式	アルミニウム合金製	※25	※鋼製																																										
	縦型	1本操作コード・2本操作コード	アルミスラット・クロススラット	100																																											
	2 可動間仕切	② 移動間仕切(上吊パネル式間仕切) (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>パネル部の総厚さ (mm)</th> <th>表面材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>不燃材の認定</th> </tr> <tr> <td>パネル式・スタッド式・スタッドパネル式</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装</td> <td>あり</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A6512によるもの ・製造所の仕様による</p>	構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種	表面仕上げ	不燃材の認定	パネル式・スタッド式・スタッドパネル式		※鋼板	※焼付塗装	あり	10 ロールスクリーン (20.2.13)	11 カーテン (20.2.14)(表20.2.1)	22 舗装工事	23 植栽工事	樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)																													
		構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種	表面仕上げ	不燃材の認定																																									
パネル式・スタッド式・スタッドパネル式			※鋼板	※焼付塗装	あり																																										
③ トイレブース (20.2.4)		<table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工場所</th> </tr> <tr> <td>一般タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装・壁紙張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮音タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装・壁紙張り</td> <td>会議室</td> </tr> </table> <p>製造所の仕様による</p>	遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	施工場所	一般タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り		遮音タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り	会議室	12 カーテンレール (20.2.14)	13 プレキャストコンクリート工事 (20.3.2)(20.3.3)	22 1 盛土に用いる材料 (22.2.3)(表3.2.1)	23 2 植込み用土 (23.2.3)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																									
遮音性能による区分		厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	施工場所																																										
一般タイプ			※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り																																											
遮音タイプ			※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り	会議室																																										
④ 階段滑り止め (20.2.5)		<table border="1"> <tr> <th>表面仕上げ材</th> <th>脚部</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)</td> <td>※幅木タイプ ・足金物タイプ</td> </tr> </table> <p>製造所の仕様による</p>	表面仕上げ材	脚部	メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)	※幅木タイプ ・足金物タイプ	14 間知石およびコンクリート間知ブロック積み (20.4.2)	15 その他 (20.4.3)(20.4.4)	22 2 路床安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)	3 土壌改良材 (23.2.3)(23.2.4)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																				
表面仕上げ材		脚部																																													
メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)		※幅木タイプ ・足金物タイプ																																													
⑤ 黒板 (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	16 間知石の材質 (20.4.2)	17 地盤材料 (20.4.3)(20.4.4)	22 3 路床土の支持力比 (GBR)試験 (22.2.5)	4 樹木 (23.3.2)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑥ 表示標識 (20.2.7)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	18 間知石の材質 (20.4.2)	19 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 4 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	5 支柱材 (23.3.2)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑦ 煙突ライニング (20.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>黒板 JIS S 6007 種類 ※焼付け 色 ※緑</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	20 間知石の材質 (20.4.2)	21 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 5 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)	6 幹巻き用材料 (23.3.2)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑧ 柱ガード (20.2.9)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 2 路床土の支持力比 (GBR)試験 (22.2.5)	23 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 6 加熱アスファルト混合物の抽出試験 (22.4.6)(22.6.2)(22.6.3)	7 新植樹木の枯補償期間 (23.3.4)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑨ 駐車場柱ガード (20.2.10)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 3 路床土の支持力比 (GBR)試験 (22.2.5)	24 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 7 カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)	8 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑩ 流し台ユニット (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 4 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	25 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 8 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	9 芝張り (23.4.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑪ ウッドデッキ (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 5 加熱アスファルト混合物の抽出試験 (22.4.6)(22.6.2)(22.6.3)	26 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 9 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	10 屋上緑化 (23.4.3)	芝張りの工法 ・目地張り ・べた張り																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑫ 柱ガード (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 6 加熱アスファルト混合物の抽出試験 (22.4.6)(22.6.2)(22.6.3)	27 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 10 ブロック系舗装 (22.9.2)(22.9.3)	11 その他 (23.4.2)	吹付けは種用種子 ・種子の種類 ※23.4.2(c)(1)(ii) ・種子の量 ( )																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑬ 流し台ユニット (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 7 カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)	28 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 11 透水性アスファルト舗装 (22.7.6)(22.4.6)	12 芝張り (23.4.2)	地敷き (23.4.2)																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑭ ウッドデッキ (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 8 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	29 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 12 その他 (22.7.6)(22.4.6)	13 芝張り (23.4.2)	吹付けは種用種子 ・種子の種類 ※23.4.2(c)(1)(ii) ・種子の量 ( )																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
⑮ ウッドデッキ (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table> <p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 誘導標識 ※図示 ・無し 非常用進入口表示 ※図示 ・無し 室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	22 9 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)(22.4.3)(表22.4.6)	30 積み方 (20.4.3)(20.4.4)	22 13 その他 (22.7.6)(22.4.6)	14 芝張り (23.4.2)	吹付けは種用種子 ・種子の種類 ※23.4.2(c)(1)(ii) ・種子の量 ( )																																	
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												



項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考			
【共通】								【スリーブ・開口補強】								機械警備	機械警備用センサー及び同配線						□		【家具・仕上ユニット・その他】									
仮設	仮囲い	●						躯体貫通	基礎梁の運通管・通気管・人通管	●						機械警備用配管		●						家具・機器	家具リストに記載されている機器	●								
	共通足場	●					外部足場等	各種配管用スリーブ及び型枠取付	●	●	●	●				機械警備監視盤							□	洗面化粧台	洗面化粧台本体	●					排水トラップも含む			
	作業足場	●	●	●	●		各工事で使用するもの	同上 開口補強	●																	同上 一次側電気配管・配線		●						
	請負者事務所、材料置場等	●	●	●	●			床・壁の開口箱入れ		●	●	●													同上 給排水管の接続				●					
	監督員事務所	●					備品を含む	同上 開口補強	●																洗面カウンター	洗面カウンター	●							
	交通整理員	●						各種貫通部の穴埋め及び補修	●	●	●	●													同上に設置する衛生器具				●					
残土処分	残材・残土処分	●	●	●	●			屋上設備取出口の空隙充填		●	●	●													衛生器具の取付、配管接続				●					
								躯体貫通部の防水処理		●	●	●													流し台等	流し台・コンロ台	●					排水トラップも含む		
								床貫通スリーブまわりの防水処理	●																同上 給排水・ガス管の接続				●					
								穴空け補修後の仕上	●																吊戸棚・水切り棚		●							
電力	工事前電力引込工事	●					申請・撤去を含む	躯体以外の開口・貫通	天井・壁の切り込み、補強	●	△	△	△												電気温水器	電気温水器				●				
	工事前電力引込負担金	●						スイッチ・コンセント等の小開口	△	●	●	●													同上 一次側電気配管・配線		●							
	工事前電力基本使用料金	●	●	●	●			壁付器具の裏板補強	△																同上 給排水管の接続				●					
	本設電力引込工事							防火区画	貫通部の耐火処理		●	●	●												鏡	鏡(一般形状・既製品)		●						
	受電後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●		試運転を含む	【点検口・ガラリ・排水設備】																	大型鏡(製作品)		●							
	受電後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●		試運転を含む	点検口	天井点検口	●	△	△	△												姿見		●							
上下水道	工事前上下水道引込工事	●					申請・撤去を含む	PS・DS・EPS等の壁面点検口	●																トイレ	トイレブース		●						
	工事前上下水道引込負担金	●						床下点検口	●																補助手摺、背もたれ等		●							
	工事前上下水道基本使用料金	●	●	●	●			屋外マンホール、ハンドホール	●	●		●													紙巻器				●					
	本設上下水道引込工事						下水のみ	ガラリ	外壁取付ガラリ	●		△													視聴覚機器	ビデオプロジェクター本体		●						
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●		試運転を含む	同上 接続用アングル、防鳥網	●			△													電動昇降装置		●							
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●		試運転を含む	バンドキャップ	●			●													同上 一次側配管			●						
	受電後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●		試運転を含む	ドアガラリ	●																									
電話	工事前電話引込工事	●	●	●	●		申請・撤去を含む	排水	各種床面排水金物					●											消火器	消火器ボックス、表示板		●						
	工事前電話引込負担金	●	●	●	●			遮付流しの排水金物	●																消火器本体						□			
	工事前電話基本使用料金	●	●	●	●			設備機器のドレン				●	●												サイン	一般サイン		●						
	本設電話引込工事							化粧マンホール上蓋の表面仕上	●																照明付サイン		●							
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●			駐車場の排水	●				●												カーテン等	カーテン・ブラインドボックス		●						
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●			雨水排水	ルーフトレーン取付	●															カーテンレール		●							
光回線	本設光回線引込工事							内樋配管・取付	●																カーテン・暗幕		●							
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●			埋戻しピット内の雨水排水管	●				●												ブラインド		●							
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●			内樋の防露処理	●																屋上緑化	屋上緑化及び壁面緑化用植栽					●			
GATV	本設GATV引込工事							外構 側溝・集水桝						△	外構工事による										壁面緑化	同上 緑化システム及び土壌					●			
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●			外構 上配以降の排水設備					●												同上 取付部材						●			
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●																				同上 取付用アンカー打ち		●					墨出しは植栽工事		
申請	工事上の各種申請届出及び費用	●	●	●	●																				自動灌水設備					●				
解体撤去	既存建物の解体撤去																								同上 1次側電源		●					コントロールボックスまで		
	既存上下水道・ガス管の撤去																								同上 1次側給水				●			バルブボックスまで		
電波障害	(新築建物による電波障害調査)							【設備関連】																										
	事前・事後の電波障害調査							動力	動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		●																							
	(工事施工による電波障害調査)							制御	制御盤までの一次側配管・配線		●																							
	工事施工に関する電波障害調査	△					事後調査も含む		空調用制御機器及び操作機器取付とその配管・配線			●																						
	同上の調査結果による対策工事	△					事後調査も含む		衛生用液面制御機器取付とその配管・配線				●																					
									水中ポンプより制御盤までの二次側配管・配線				●	●																				
【水槽・ピット・排水溝】									警報	ガス漏れ警報装置及び配管・配線																								
躯体水槽	設備配管用RC造ピット及び釜場	●							衛生器具	便器及び身障者便所の電源		●																						
	水槽・ピット内防水処理	●							電話	電話用配管及び端子盤		●																						
	水槽・ピットのマンホール・トラップ	●								電話機		●																						
	ピット内人通孔・通気孔・通水孔	●								電話用配線		●																						
										LAN・光回線	光回線の配管		●																					
排水溝	屋内各種排水溝及び蓋	●					防水とも				サーバー機器類及び設置		●																					
	屋内排水溝端部集水桝及び蓋	●					防水とも				LAN回線の配管		●																					
	排水目皿及び配管				●						LAN回線の配線																							
【各種基礎】																																		
機器の基礎	コンクリート基礎(屋内)	●																																
	コンクリート基礎(屋外)	●					建築図に記載のもの																											
	コンクリート基礎の仕上(屋内)	●																																
	コンクリート基礎の仕上(屋外)	●					防水とも																											
	機器、水槽等のアンカー取付		●	●	●																													
	鋼製基礎及び架台		●	●			防振とも																											

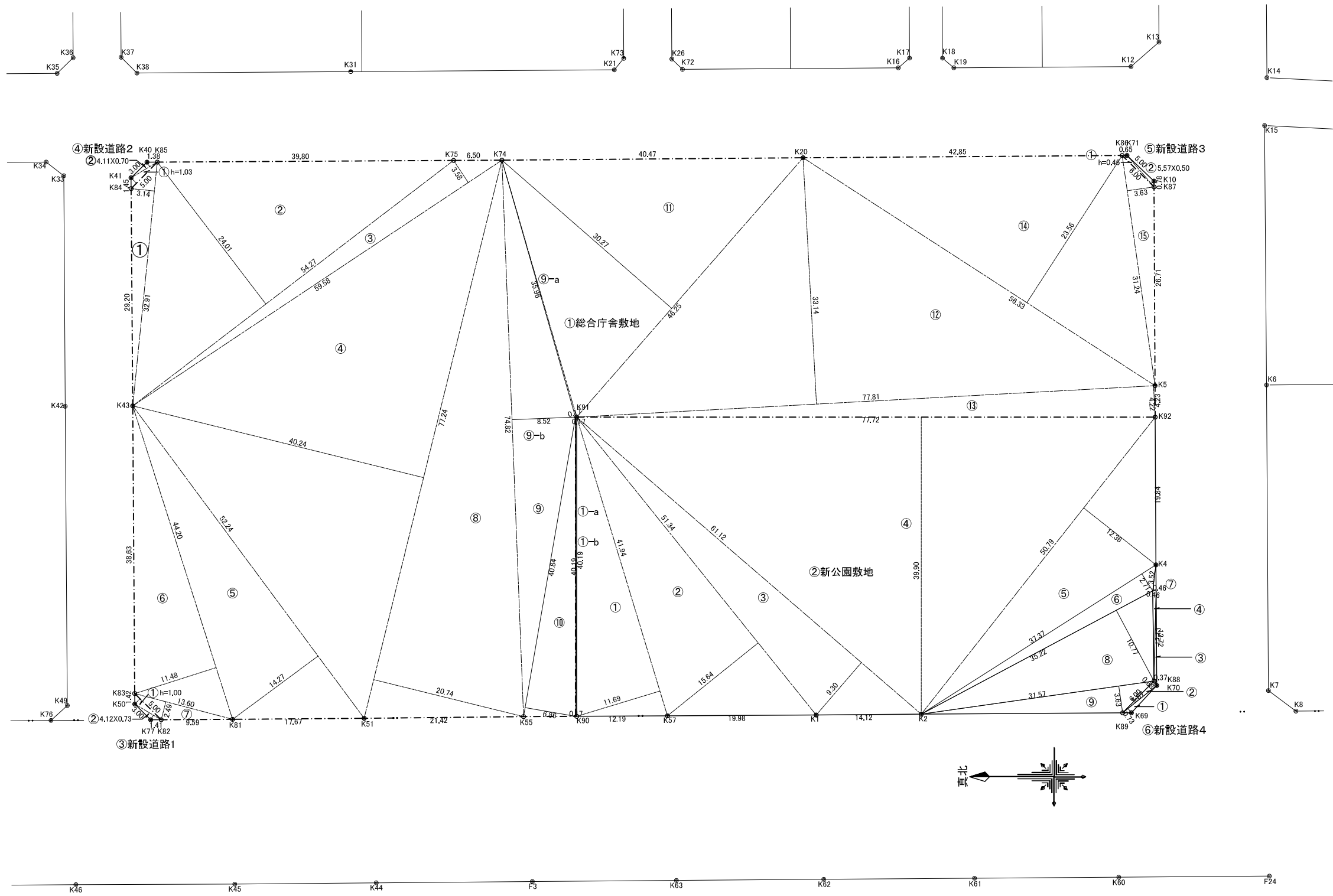
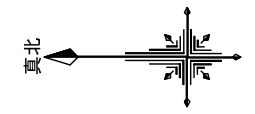




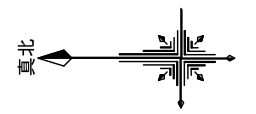
案内図

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	図面名称 案内図・配置図	図面番号 A-011
株式会社 国設計			設計者 吉村久夫	図面枚数 1	図面番号 A-011	

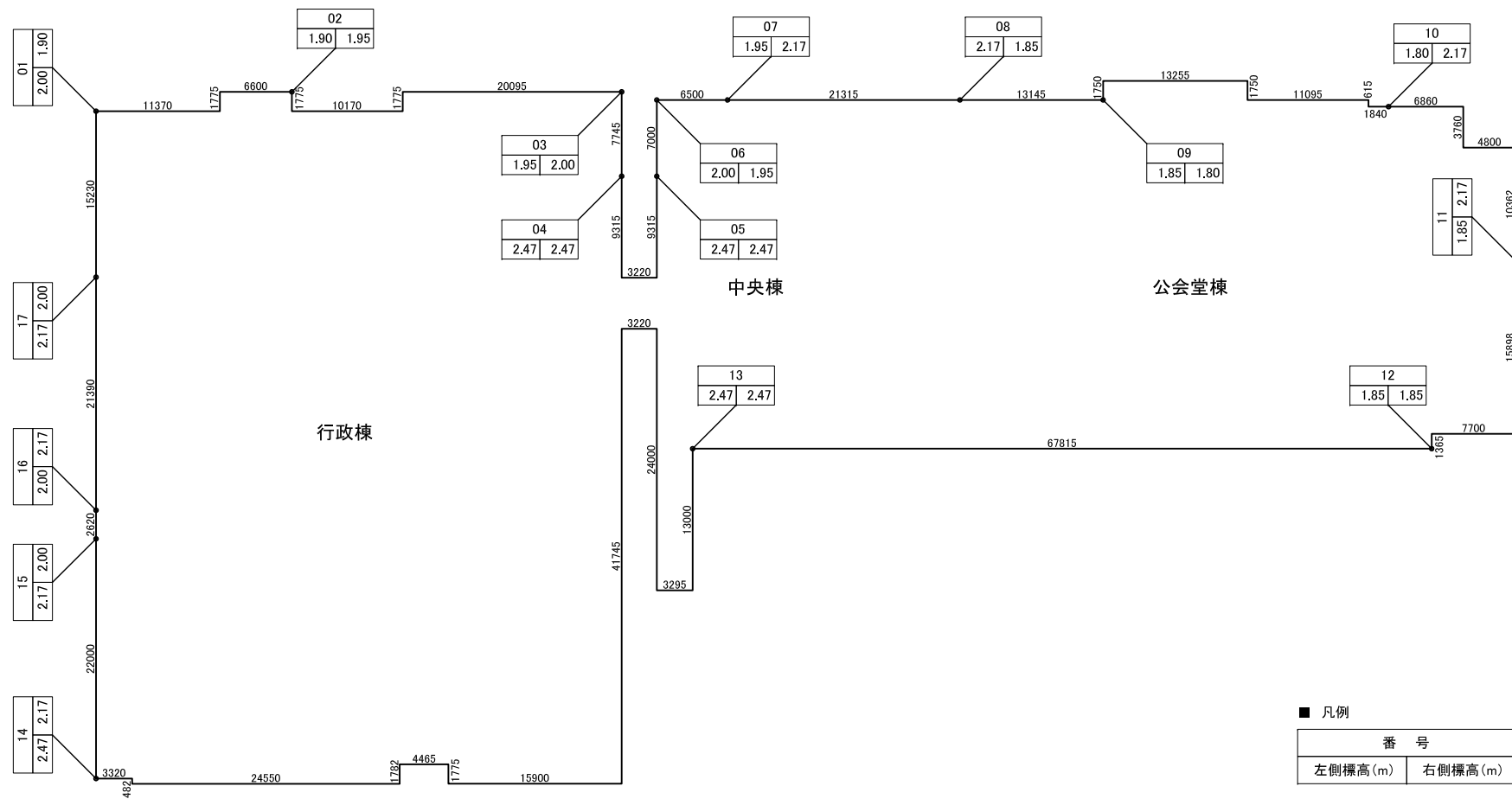




①金沢区総合庁舎敷地面積			
番号	底辺	高さ	倍面積
①	32.91	3.14	103.3374
②	54.27	24.01	1,303.0227
③	59.58	3.58	213.2964
④	77.24	40.24	3,108.1376
⑤	52.24	14.27	745.4648
⑥	44.20	11.48	507.4160
⑦	13.60	2.49	33.8640
⑧	77.24	20.74	1,601.9576
⑨-a	35.96	0.17	6.1132
⑨-b	74.82	8.52	637.4664
⑩	40.84	6.86	280.1624
⑪	46.25	30.27	1,399.9875
⑫	77.81	33.14	2,578.6234
⑬	77.81	4.22	328.3582
⑭	56.33	23.56	1,327.1348
⑮	31.24	3.63	113.4012
倍面積の計			14,287.7436
合計面積			7,143.8718
地積			7,143.87

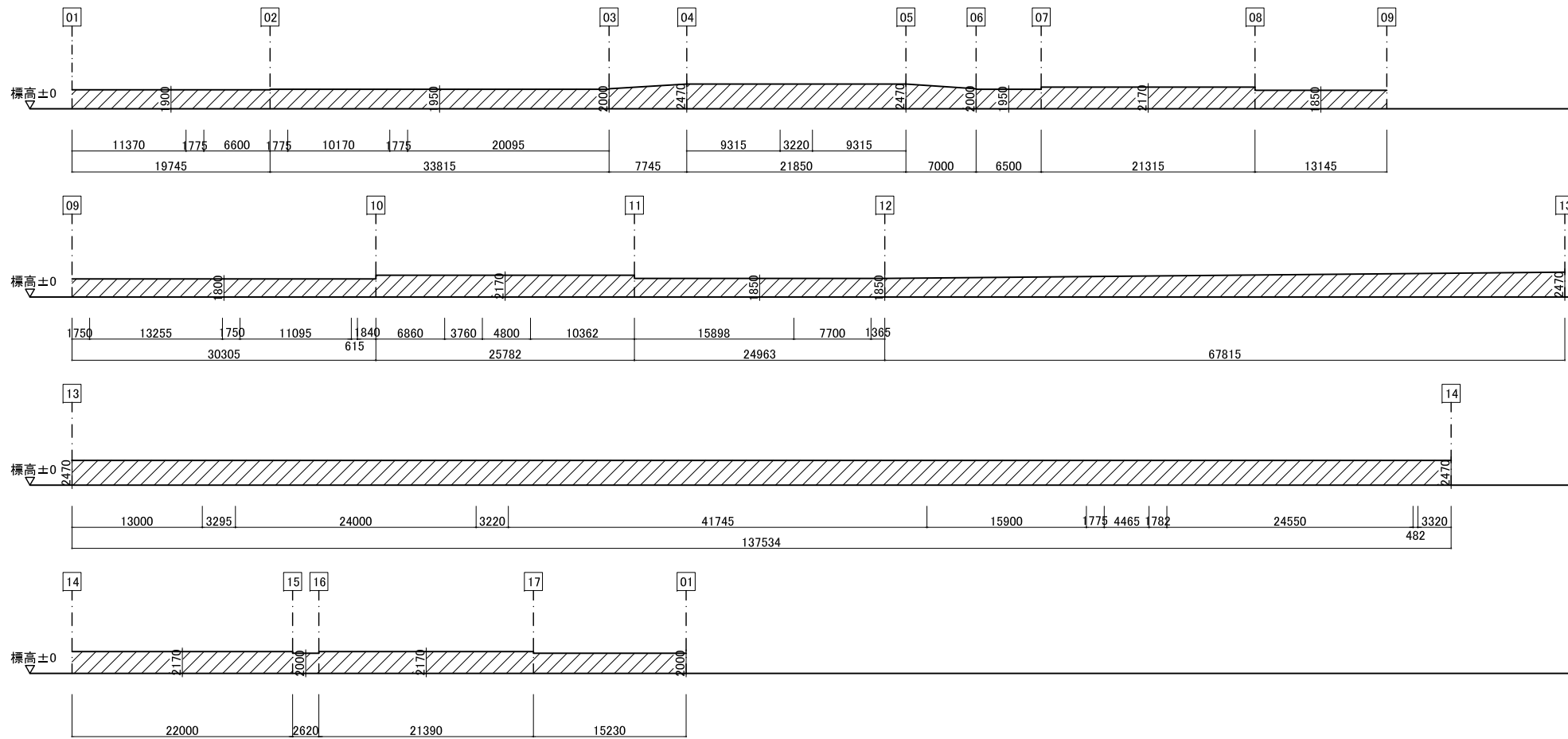


- 凡例
- ◎ コンクリート杭
  - 鋳物杭
  - ⊕ 金属プレート
  - 鉄釘
  - 図上点



■ 凡例

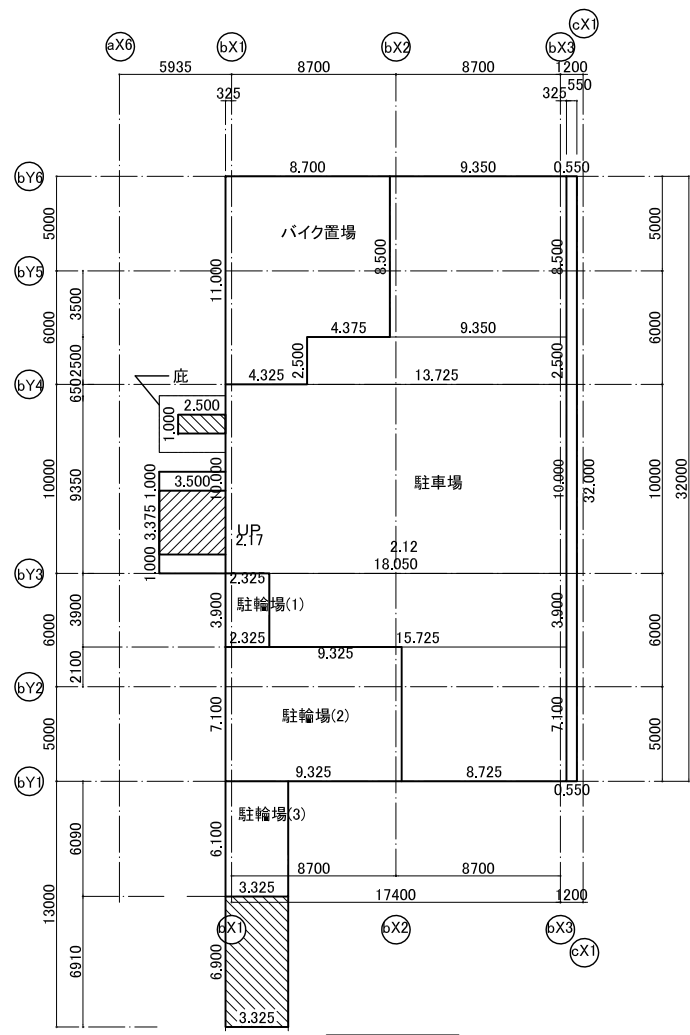
番 号	
左側標高(m)	右側標高(m)



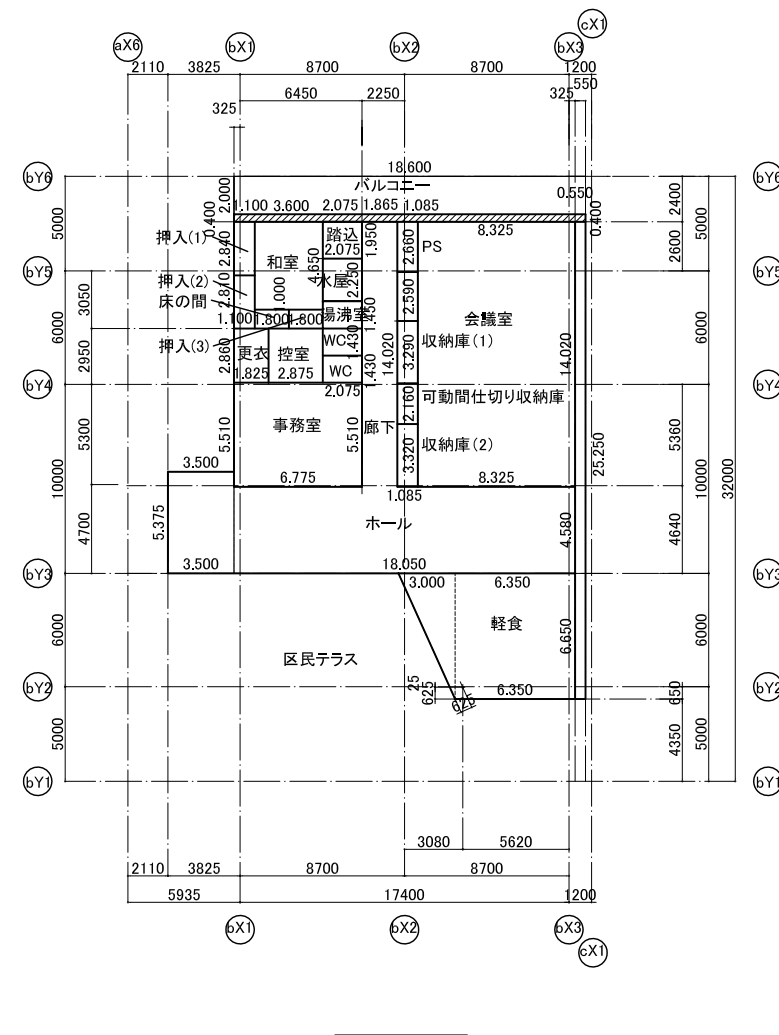
■ 平均地盤面 求積表

区 間	辺長(m)	高さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )
01-02	19.745	1.900	37.51550
02-03	33.815	1.950	65.93925
03-04	7.745	(2.000+2.470) × 7.745 × 0.5	17.310075
04-05	21.850	2.470	53.96950
05-06	7.000	(2.470+2.000) × 7.000 × 0.5	15.64500
06-07	6.500	1.950	12.67500
07-08	21.315	2.170	46.25355
08-09	13.145	1.850	24.31825
09-10	30.305	1.800	54.54900
10-11	25.782	2.170	55.94694
11-12	24.963	1.850	46.18155
12-13	67.815	(1.850+2.470) × 67.815 × 0.5	146.48040
13-14	137.534	2.470	339.70898
14-15	22.000	2.170	47.74000
15-16	2.620	2.000	5.24000
16-17	21.390	2.170	46.41630
17-01	15.230	2.000	30.46000
計	478.754		1,046.349295
平均地盤面	1,046.349295 ÷ 478.754 =		2.18
			小数点第3位切捨て

■ 注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市 建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/300 A3=1/600	図面名称 平均地盤面算定図
	設計者 株式会社 国設計	図面番号 A-013	図面種類 概算図
			図面枚数 1



1階平面図



2階平面図

- 凡例
- 吹きさらしの廊下等で、床面積に算入される部分
  - 建築面積に算入される部分

中央棟 床面積 (㎡)

1階				2階				
室名	X寸法	Y寸法	計 面積	室名	X寸法	Y寸法	計 面積	
駐車場	9.350	8.500	79.475	会議室	8.325	14.020	116.717	
	13.725	2.500	34.313		同 収納庫(1)	1.085	2.590	2.810
	18.050	10.000	180.500		同 収納庫(2)	1.085	3.320	3.602
	15.725	3.900	61.328		同 可動間仕切り	1.085	2.160	2.344
	8.725	7.100	61.948		PS	1.085	2.660	2.886
バイク置場	8.700	8.500	73.950	和室	3.800	4.650	16.740	
	4.325	2.500	10.813		同 床の間	1.800	1.000	1.800
駐輪場(1)	2.325	3.900	9.068	同 押入(1)	1.100	2.840	3.124	
駐輪場(2)	9.325	7.100	66.208	同 押入(2)	1.100	2.810	3.091	
駐輪場(3)	3.325	6.100	20.283	同 押入(3)	1.800	1.000	1.800	
EXP.J	0.550	32.000	17.600	同 水屋	2.075	1.450	3.009	
渡り廊下下部	3.500	1.375	4.813	同 踏込	2.075	2.250	4.669	
				湯沸室	2.075	1.950	4.046	
				事務室	6.775	5.510	37.330	
				同 控室	2.875	2.860	8.223	
				同 更衣室	1.825	2.860	5.220	
				便所(1)	2.075	1.430	2.967	
				便所(2)	2.075	1.430	2.967	
				軽食	6.350	6.650	42.228	
					1.500	6.650	9.975	
				ホール(渡り廊下部分)	3.500	5.375	18.813	
				ホール	18.050	4.580	82.669	
				廊下	1.865	14.020	26.147	
				EXP.J	0.550	25.250	13.888	
				バルコニー(外部)	18.600	0.400	7.440	
1階床面積			620.295	2階床面積			428.073	
		小数点3位を切り捨て	620.29			小数点3位を切り捨て	428.07	
延床面積				1,048.36				

建築面積 (㎡)

室名	X寸法	Y寸法	計 面積
1階床面積			620.295
泥亀公園外階段	3.325	6.900	22.943
庇	2.500	1.000	2.500
渡り廊下下部	3.500	5.375	18.813
建築面積			664.550
		小数点3位を切り捨て	664.55

■ 部位別共通事項 ■

部 位	内 容
外部仕上	外壁 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンクリート打放し」壁は、構造寸法より20mm付加す。</li> <li>・外周壁で、ボード貼り仕上げを行う室内側の壁には、現場発泡硬質ウレタンフォーム厚30を吹付ける。(外周壁より、1m内側まで吹き付ける)</li> </ul>
	シーリング <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具廻りの外部シーリングは、特配なき限り PU-2とする。</li> <li>・コンクリート壁の打継、誘発目地は、特配なき限り PU-2とする。</li> </ul>
内部仕上	2階スラブ下(1階天井内) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階で室内となるスラブ下には、現場発泡硬質ウレタンフォーム厚30を吹き付ける。</li> </ul>
	床 <ul style="list-style-type: none"> <li>・張り物仕上げ(ビニル系床タイル・床シート)となるスラブ上は、セルフレベリング工法(セメント系)とする。</li> <li>・駐車場の排水溝は防水モルタル厚30金ゴテの上、合成樹脂塗床とする。</li> </ul>
	幅木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部幅木は、特配なき限り ビニル幅木 H=60、木製幅木 H=100 とする。</li> </ul>
	内壁 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンクリート打放し」壁は、構造寸法より20mm付加す。</li> <li>・有孔ボード(有孔シナ合板、天然木化粧合板)は、色付寒冷紗を裏打ちとする。</li> <li>・便所・湯沸室の化粧CSB厚6は、シーリング工法とする。</li> <li>・造付け家具を設置する壁部分の仕上げ(ボード張り・塗装)は行わない。(ただし、掲示板・ホワイトボードは壁仕上げを行う。)</li> <li>・便所等で下地補強が必要な部分は、GB厚12.5に替えて、耐水合板厚12とする。</li> </ul>
廻縁	・特配なき限り 塩ビ製とする。
天井	・天井下地は、特配なき限り LGSとする。
塗装	・カーテンBOX、幅木の塗装は、壁塗装と同じとする。

■ 材料の略号、及び防火材料一覧表 ■

略号	材 料	厚さ	認定番号
RC	コンクリート下地		
M	モルタル下地		
CB	コンクリートブロック		
OA	OAフロアー		
W	木下地(木脚縁)		
人工木	セラミック脚縁		
LGS	軽量鉄骨下地		
CL	クリアラッカー		
OMS	木用自然系塗料		
複層E	複層塗材E		
複層Si	複層塗材Si		NM-8573
乾式耐火壁	GB-F厚12.5+ GB-R-H厚9.5(両面)		FP060NP-0199
乾式耐火遮音壁	GB-F厚12.5 +GB-R-H厚9.5(両面) GW24kg厚50充填		FP060NP-0200
ECP	押出成型セメント板		NM-9259
RD	ルーフレイン		
金属板	亜鉛合金板厚0.7		NE-0046

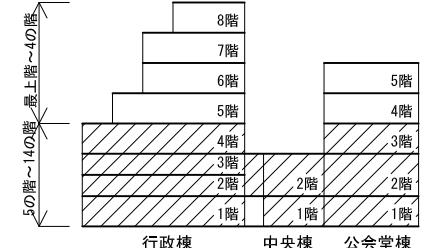
略号	材 料	厚さ	認定番号
GB-R	せっこうボード	厚9.5	QM-9828
		厚12.5	NM-8619
GB-D(ジブトーン)	化粧せっこうボード	厚9.5	QM-0524
		厚9.5	NM-1864
GB-D(和室)	化粧せっこうボード(和室天井用)	厚12.5	NM-0127
GB-F	強化せっこうボード	厚12.5	NM-8615
GB-R-H	普通硬質せっこうボード	厚9.5	NM-9645
化粧せっこう吸音ボード(スクエアトーン・D)	化粧せっこう吸音ボード	厚9.5	NM-0879
		厚9	NM-8599
RWB	岩綿吸音板	厚12	NM-8599
CSB	珪酸カルシウム板		NM-9029
GW	グラスウール吸音材(ボード)		NM-8605
	押出し成型セメント板		NM-9259
	スギ小幅板	厚12	NM-1704
	天然木化粧合板	厚6	NM-9340
VC	塩化ビニル樹脂系壁紙		NM-0342
EP	合成樹脂エマルジョンペイント		NM-8585
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント		NM-8585

■ 耐火構造一覧 ■

建築物の部分	加熱時間	RC造関係		
		主な仕様	認定番号	
壁	1階・2階	耐力壁	RC:厚150	H12建告1399第1-4
		非耐力壁(延焼外)	RC:厚150	H12建告1399第1-6-イ
	間仕切壁	耐力壁	RC:厚150	H12建告1399第1-7
		非耐力壁	LGS下地、 GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5(両面)	FP060NP-0200
柱	2時間	RC:700×700、等	H12建告1399第2-2-ロ	
床	2時間	RC:厚180、150	H12建告1399第3-1-イ	
梁	2時間	RC:400×800、400×700等	H12建告1399第4-2-イ	
屋根	30分間	RC:厚150	H12建告1399第5-1	
階段	30分間	RC	H12建告1399第6-4	
他	主要な間仕切壁(倉114系区画・界壁等)	1時間	LGS下地、 GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5(両面)	FP060NP-0199 (乾式耐火壁)
		1時間	LGS下地、 GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5(両面) GW24kg厚50充填	FP060NP-0200 (乾式耐火遮音壁)

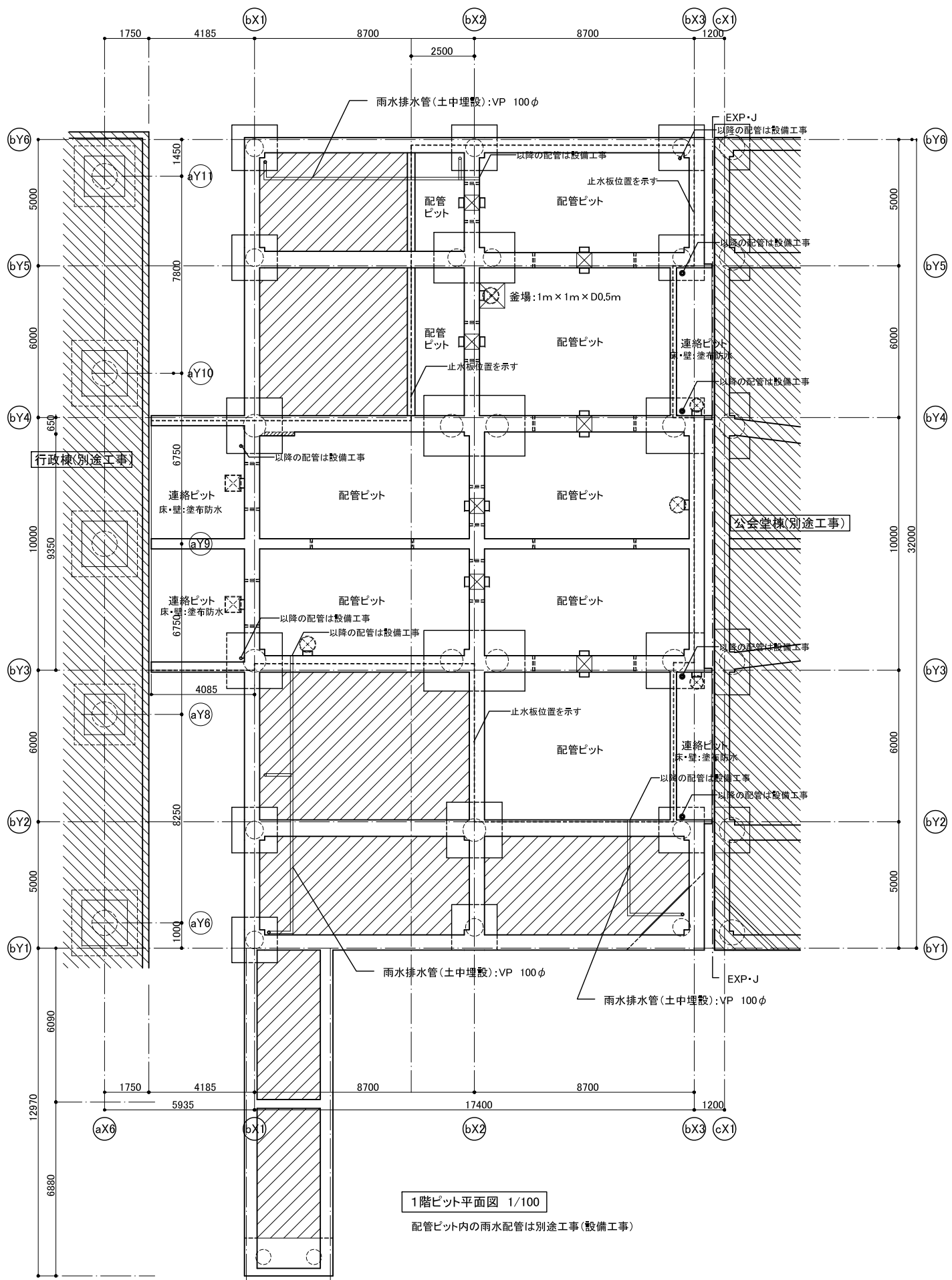
■ 外部仕上 ■

部 位	仕 上	部 位	仕 上			
3階屋上	平場	防水	アスファルト防水(AI-1)、断熱材:ポリスチレンフォーム厚30			
			絶縁用シート:ポリエチレンフィルム厚0.15			
			仕上げ (屋上庭園)	押さえコンクリート厚80(溶接金網 6φ-100)、目地:3m内外(W25、成形目地) ウッドデッキ厚25(再生木、中空押し出し材)、銅製下地		
	バラベット	防水立上り	アスファルト防水(AI-1)			
			仕上げ	押出し成型セメント板厚15(アルミガイド金物)		
			笠木	珪器質タイル(100角)		
			内壁	コンクリート打放し、複層E 水切り:アルミ製		
			RD	錆鉄製 100φ		
	目隠しフェンス	フェンス(別途工事)アルミ格子ルーバー	バルコニー 2階・東	平場	防水	アスファルト防水(AI-1)、断熱材:ポリスチレンフォーム厚20
	基礎	コンクリート(押えコンクリート) 天端:ウレタン防水(X-2)				
フランジャー	ステンレス製(笠木上部:ステンレス製養生メッシュ) 受けアングル:ステンレス FB-5×50@1000					
壁面緑化	土壌	(別途工事)人口軽量土				
		植込緑石		コンクリート打放し、複層E 通水管:VP75φ半割@2000		
屋上緑化	立上り	アスファルト防水(AI-1)				
		仕上げ		押出し成型セメント板厚15(アルミガイド金物)		
		天端		ウレタン防水(X-2)		
設備機器基礎	ササラ	スチール製(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 見え掛り部はDP塗装				
		床		PL-4.5 コンクリート厚65 磁器質タイル		
		手摺	スチール製(溶融亜鉛メッキ仕上げ)			
連絡階段	ハト小屋	天端	ウレタン防水(X-2)			
		壁	コンクリート打放し、複層E			
		配管出口プレート	アルミパネル厚2			
軽食 屋上	平場	防水	アスファルト防水(AI-1)、断熱材:ポリスチレンフォーム厚30			
			絶縁用シート:ポリエチレンフィルム厚0.15			
			仕上げ	押さえコンクリート厚80(溶接金網 6φ-100)、目地:3m内外(W25、成形目地) 玉砂利敷厚50		
	バラベット	防水立上り	アスファルト防水(AI-1)			
			仕上げ	押出し成型セメント板厚15(アルミガイド金物)		
			笠木	珪器質タイル(100角)		
			RD	錆鉄製 100φ		
	ハト小屋	天端	ウレタン防水(X-2)			
			壁	コンクリート打放し、複層E		
			配管出口プレート	アルミパネル厚2		
渡り廊下 屋上	防水	アスファルト露出防水(DI-1工法)、玉砂利敷き厚50、オーバーフロー管 ステンレス50φ	EXP、J			
			中央階段	踏面・蹴込み 300角タイル×300×150		
			東西通路	磁器質タイル(300角)、免震用カバー		
			軒天	CSB厚6(Vカット突付)EP-G		
			連絡階段	ササラ	スチール製(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	
					床	PL-4.5 コンクリート厚65 磁器質タイル
					手摺	スチール製(溶融亜鉛メッキ仕上げ)
			一般部	珪器質タイル(50角、100角 模様貼)	柱	珪器質タイル(50角、100角 模様貼)
					庇	2階屋上テラス
			上面	コンクリート金ゴテの上、ウレタン塗膜防水(X-2)	上裏・側面	コンクリート打放しの上、複層E
カラーアルミ製 114φ バンドレストタイプ 掘込み金物:アルミ製						
建具	アルミ建具	A1種(着色:陽極酸化塗装複合被膜)	鋼製建具			
			DP塗装(フッ素系)			
			HL仕上げ			
EXP、J	アルミ製	中央階段	踏面・蹴込み			
			東西通路	磁器質タイル(300角)、免震用カバー		

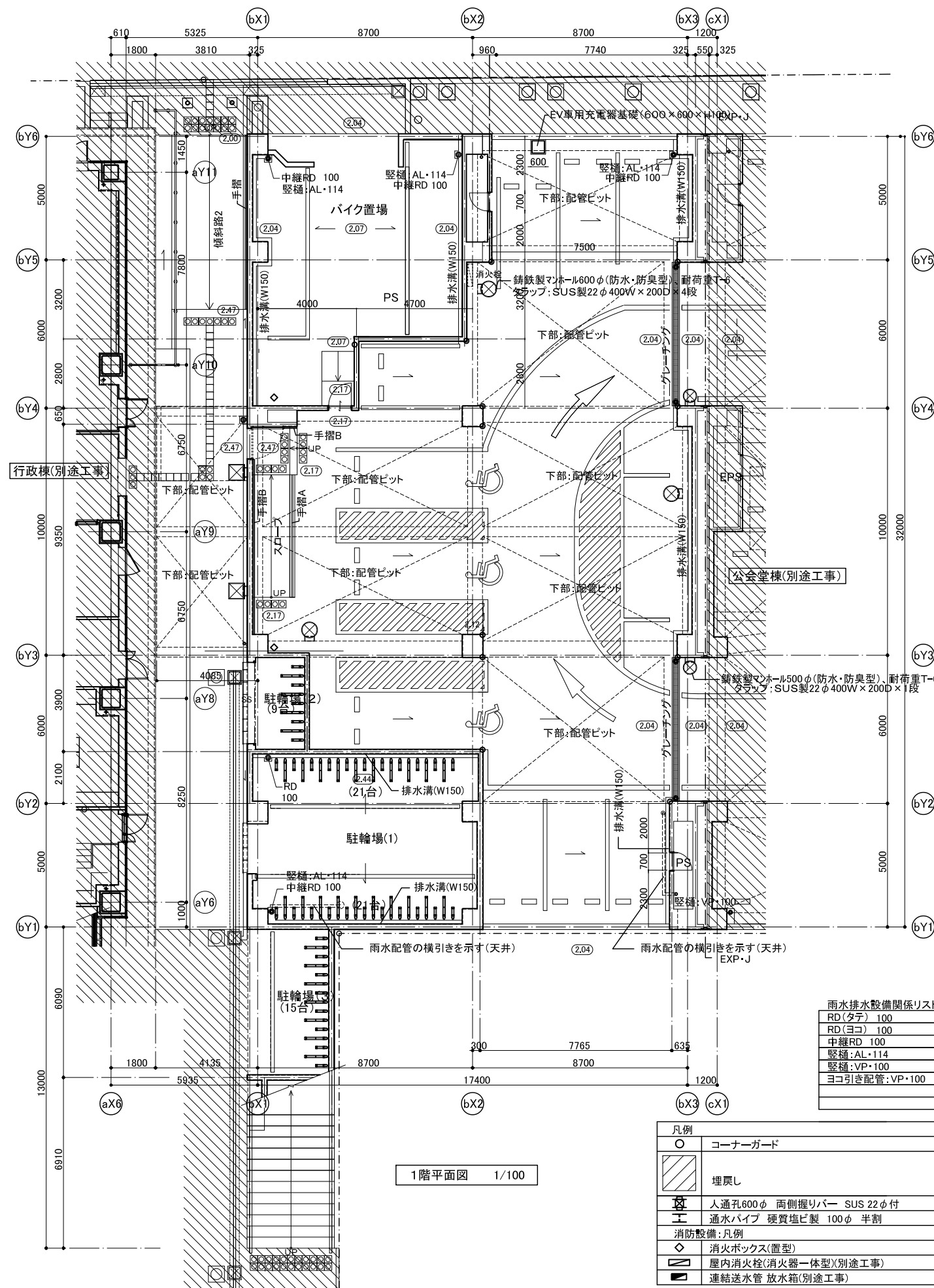


■ 内部仕上表 中央棟(1)																	
階数	室名	天井高 床仕上高 スラブ高	床 仕上	幅木 仕上	壁				柱		天井		梁型		廻縁	ブラインドBOX ブラインド	備考
					部位	下地1	下地2	仕上	下地 + 仕上	下地	仕上	下地	仕上				
1階	駐車場	2.910 ±0~+130 ±0~+130	合成樹脂塗床 (排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床とする)	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB 厚6 EP-G	RC	複層Si	塩ビ製		身障者用マーク、区画線、タイヤ止め 階段・スロープ 床:磁器質タイル(150角) 同手摺:スチール(ステンレス製) 排水グレーチング:鋳鉄製
					B	RC		複層Si									
					C	RC		複層Si									
					D	RC		複層Si									
	バイク置場	2.910 ±0~+30 ±0~+30	合成樹脂塗床 (排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床とする)	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB 厚6 EP-G	RC	複層Si	塩ビ製		区画線
					B	RC		複層Si									
					C	RC		複層Si									
					D	RC		複層Si									
	駐輪場(1)	2.480 +400~+430 +400~+430	合成樹脂塗床 (排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床とする)	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB 厚6 EP-G	RC	複層Si	塩ビ製		区画線、自転車用ラック(別途工事)
					B	RC		複層Si									
					C	RC		複層Si									
					D	RC		複層Si									
	駐輪場(2)	2.480 +430 +430	合成樹脂塗床 (排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床とする)	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB 厚6 EP-G	RC	複層Si	塩ビ製		区画線、自転車用ラック(別途工事)
					B	RC		複層Si									
					C	RC		複層Si									
					D	RC		複層Si									
	駐輪場(3)	直天	合成樹脂塗床 (排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床とする)	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		複層Si	RC	複層Si	RC	複層Si	RC	複層Si			区画線、自転車用ラック(別途工事)
					B	RC		複層Si									
					C	RC		複層Si									
					D	RC		複層Si									
	設備スペース(PS)	直天	合成樹脂塗床	壁材と同じ H=100 目地分れ	A	RC		素地	RC	素地	RC	素地	RC	素地			
					B	RC		素地									
					C	RC		素地									
					D	RC		素地									
2階	会議室	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 +天然木化粧板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製	木製	掲示板、ホワイトボード、可動間仕切
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G									
	同 収納庫(1)	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-R厚9.5 VC			塩ビ製		
					B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
	同 収納庫(2)	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-R厚9.5 VC			塩ビ製		
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
	同 収納庫(3)	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-R厚9.5 VC			塩ビ製		
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
	同 可動間仕切り 収納庫	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-R厚9.5 VC			塩ビ製		
					B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G									
	和室	2.500 +100 -20	たたみしき (ユニットフロア H=120)	たたみ寄せ	A	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)			LGS	GB-R厚12.5(捨て貼り) + GB-D(和室)厚12.5			木製		電気炉、障子
					B 外壁面	LGS(50)	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)									
					C 湯沸室側	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	VC(不燃材)									
					D	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)									
同 床の間 同 床脇				A	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)			LGS	GB-R厚12.5(捨て貼り) + GB-D(和室)厚12.5(不燃材)			木製		床の間(床框:赤松、床板:赤松、落掛:杉桎) (床柱:杉桎、八掛: ) 床脇(床板:赤松、落掛:杉桎、地袋)	
				B	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)										
				C	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)										
				D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	VC(不燃材)										
同 押入(1)	2.500 +100 -20	合板 厚12 (木床組 H=120)	木 (雑巾摺)	A 外壁面	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	W	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 VC	LGS	GB-R厚9.5(不燃材) + VC(不燃材)			木製		中棚	
				B 外壁面	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
				C	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
				D	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
同 押入(2)	2.500 +100 -20	合板 厚12 (木床組 H=120)	木 (雑巾摺)	A 外壁面	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G			LGS	GB-R厚9.5(不燃材) + VC(不燃材)			木製		中棚	
				B	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
				C	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
				D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
同 踏込	2.500 ±0,+100 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート(SL厚8) 縁甲板 厚15 (木床組 H=120)	木(桧) H=100	A	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)			LGS	GB-R厚12.5(捨て貼り) + GB-D(和室)厚12.5(不燃材)			木製		下足入	
				B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5(スラブ下まで)	VC(不燃材)										
				C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	VC(不燃材)										
				D	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)										
同 水屋	2.500 +100 -20	縁甲板 厚15 (木床組 H=120)	木 (雑巾摺)	A	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)			LGS	GB-R厚12.5(捨て貼り) + GB-D(和室)厚12.5(不燃材)			木製		流し(銅板)、吊戸棚、通り棚、竹釘、他	
				B	LGS(50)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	VC(不燃材)										
				C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	VC(不燃材)										
				D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	VC(不燃材)										

■ 内部仕上表 中央棟(2)																		
階数	室名	天井高 床仕上高 スラブ高	床	幅木	壁				柱		天井		梁型		廻縁	ブラインドBOX ブラインド	備考	
			仕上	仕上	部位	下地1	下地2	仕上	下地 + 仕上	下地	仕上	下地	仕上					
2階	湯沸室	2,500 ±0 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G	流し臈:化粧CSB厚6			LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製		流し台、吊戸棚、水切棚、レンジフード
					B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	化粧CSB厚6									
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G	流し臈:化粧CSB厚6									
					D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
	事務室	2,700 ±0 -100	タイルカーペット (OAフロア H=100)	ソフト巾木 H=60	A	RC(外部)	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G		RC	(GL工法)	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製	○ ○	受付カウンター、ロールカーテン(目隠し用)
					B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					B (便所面)	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
	同 控室	2,500 ±0 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G				LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製		ミニキッチン(W1500)
					B	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
	同 更衣室	2,500 ±0 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	RC(外部)	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G		RC	(GL工法)	LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製	○ ○	
					B	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
	同 便所(1)	2,500 ±0 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G				LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製		洗面カウンター、補助手摺、杖用フック
					B	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
	同 便所(2)	2,500 ±0 -10 (上フカシ+10)	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G				LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製		洗面カウンター、補助手摺、杖用フック
					B	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					D	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
	PS	直天	合成樹脂塗床		A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
	軽食 (厨房含む)	2,700 ±0 -250	フローリング厚15 (捨て貼り:耐水合板厚12) (ユニットフロアH=250)	天然木化粧 パネル H=100	A				サッシ	RC	(GL工法)	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製	○ ○ タテ型・ヨコ引き	ステンレスフード(別途工事)
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
	ホール	2,700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G		RC	(GL工法)	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		柱保護ガード ピクチャーレール(廻縁兼用)
					B	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					B(事務室面)	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G	天然木化粧板 厚6									
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
	廊下	2,700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G		RC	(GL工法)	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火遮音壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					D													
	渡り廊下	2,700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧 パネル H=100	A	建具及び上部乾式耐火壁:既設		EP-G		RC	(GL工法)	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		免震用EXP.Jカバー:床・壁・天井
					B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
					C	LGS(乾式耐火壁)	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G										
					D	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5 (スラブ下まで)	EP-G										
ビット	配管ビット		コンクリート金こて			コンクリート打ち放し						コンクリート打ち放し	コンクリート打ち放し					釜場(1m×1m×0.5m)
	連絡ビット		コンクリート金こて ケイ酸質系浸透性塗布防水			コンクリート打ち放し		ケイ酸質系浸透性塗布防水				コンクリート打ち放し	コンクリート打ち放し					



1階配管平面図 1/100  
配管ピット内の雨水配管は別途工事(設備工事)



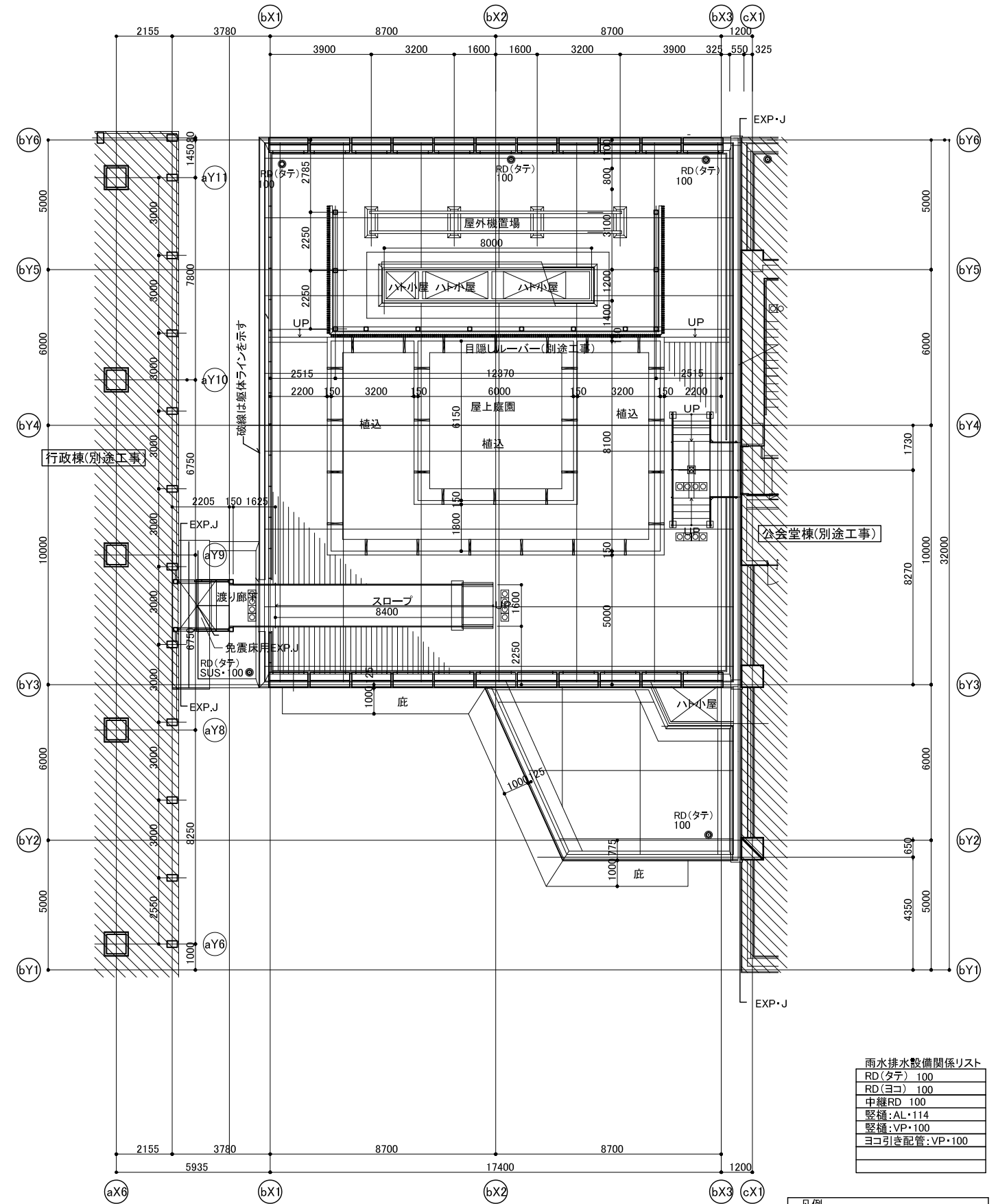
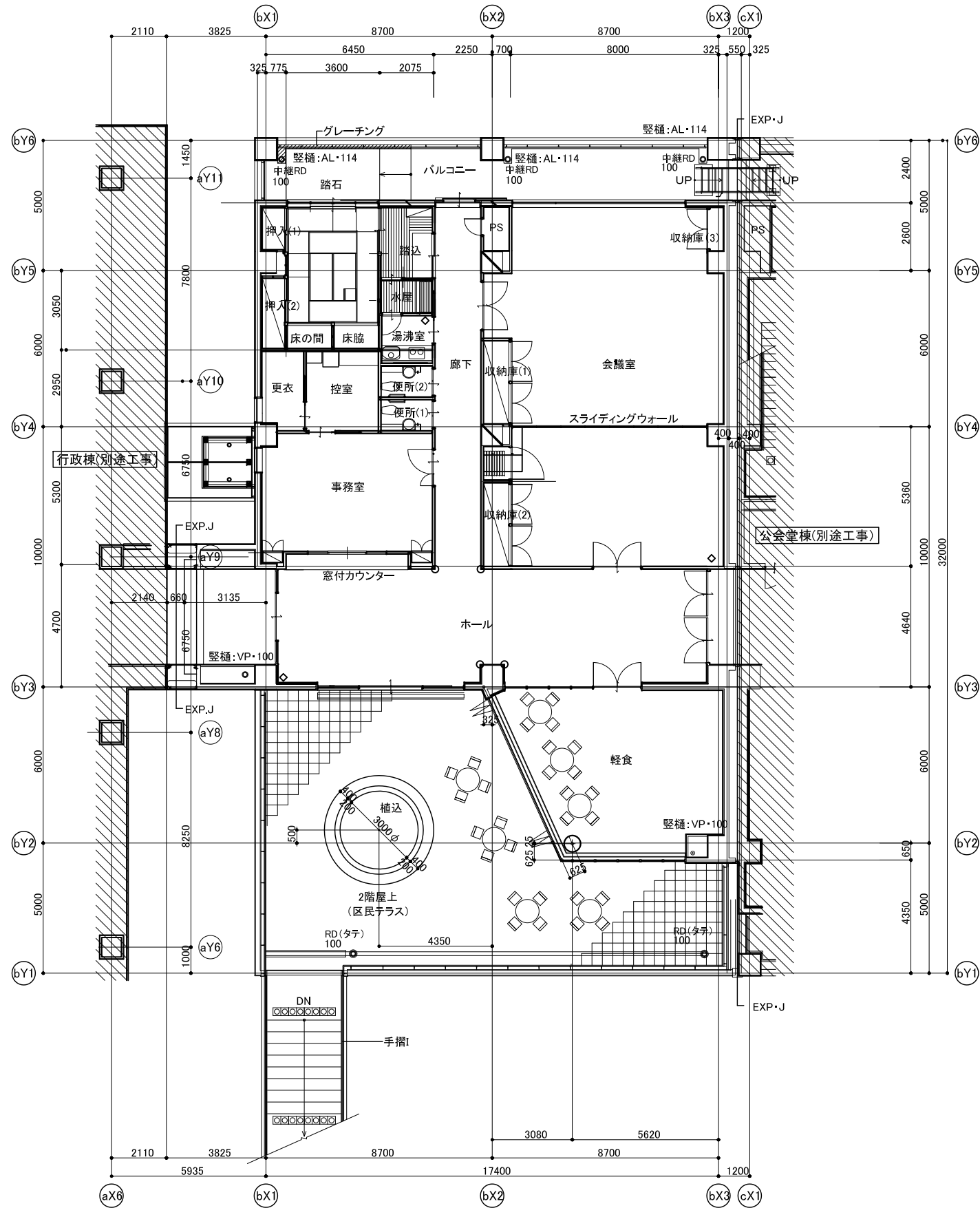
1階平面図 1/100

雨水排水設備関係リスト

RD(ダテ) 100
RD(ヨコ) 100
中継RD 100
縦樋:AL-114
縦樋:VP-100
ヨコ引き配管:VP-100

凡例

○	コーナーガード
■	埋戻し
⊗	人通り600φ 両側握りバー SUS22φ付
⊕	通水パイプ 硬質塩ビ製 100φ 半割
消防設備:凡例	
◇	消火ボックス(置型)
■	屋内消火栓(消火器一体型)(別途工事)
■	連結送水管 放水箱(別途工事)



雨水排水設備関係リスト

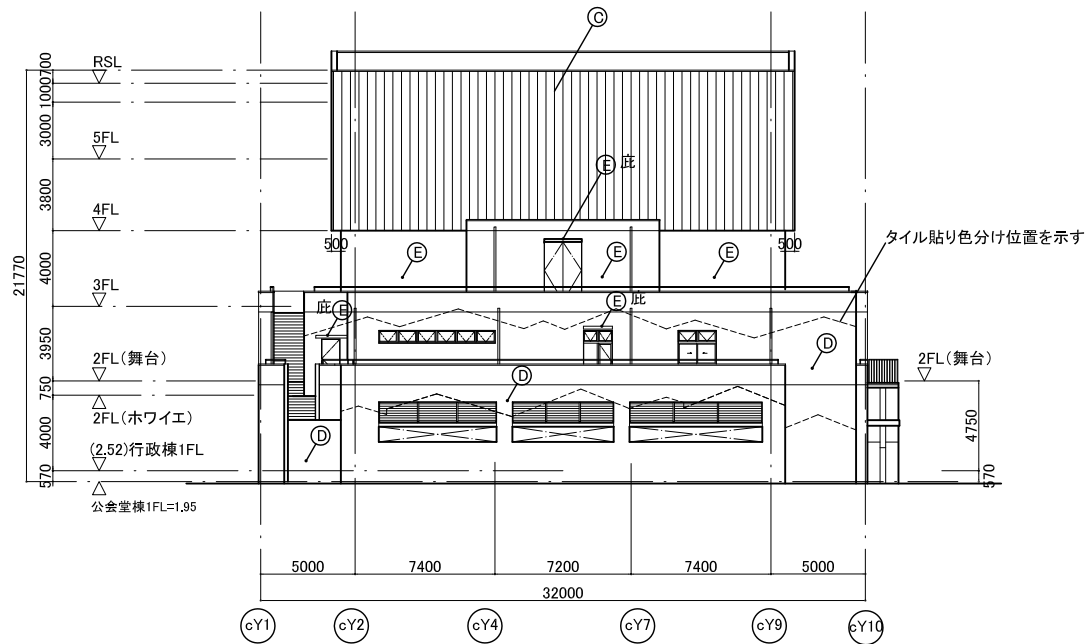
RD(タテ) 100
RD(ヨコ) 100
中継RD 100
縦樋:AL・114
縦樋:VP・100
ヨコ引き配管:VP・100

凡例

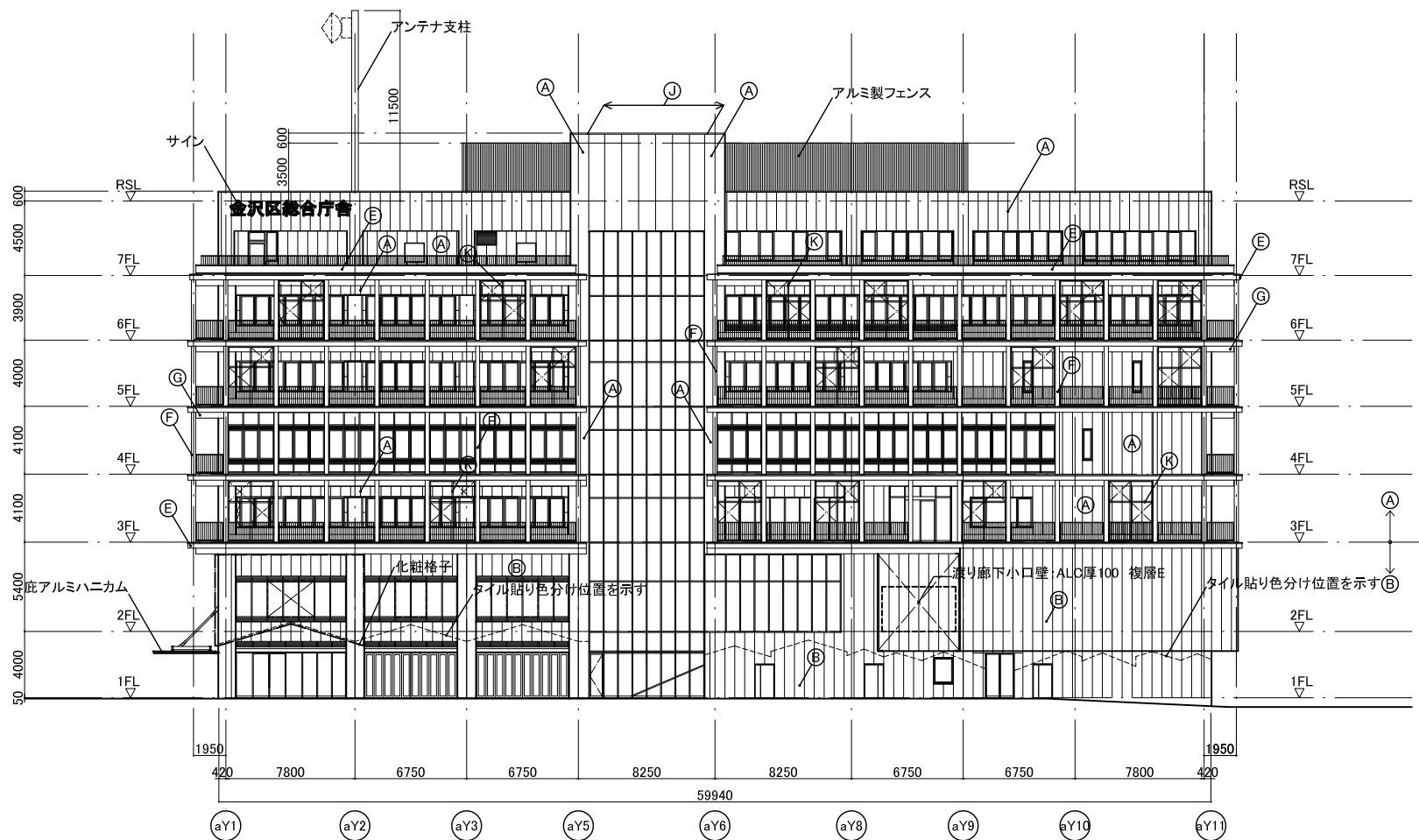
○	コーナーガード
消防設備:凡例	
◇	消火ボックス(置型)
■	屋内消火栓消火器一体型(別途工事)
◆	連結送水管 放水箱(別途工事)
◆	避難器具(緩降機)



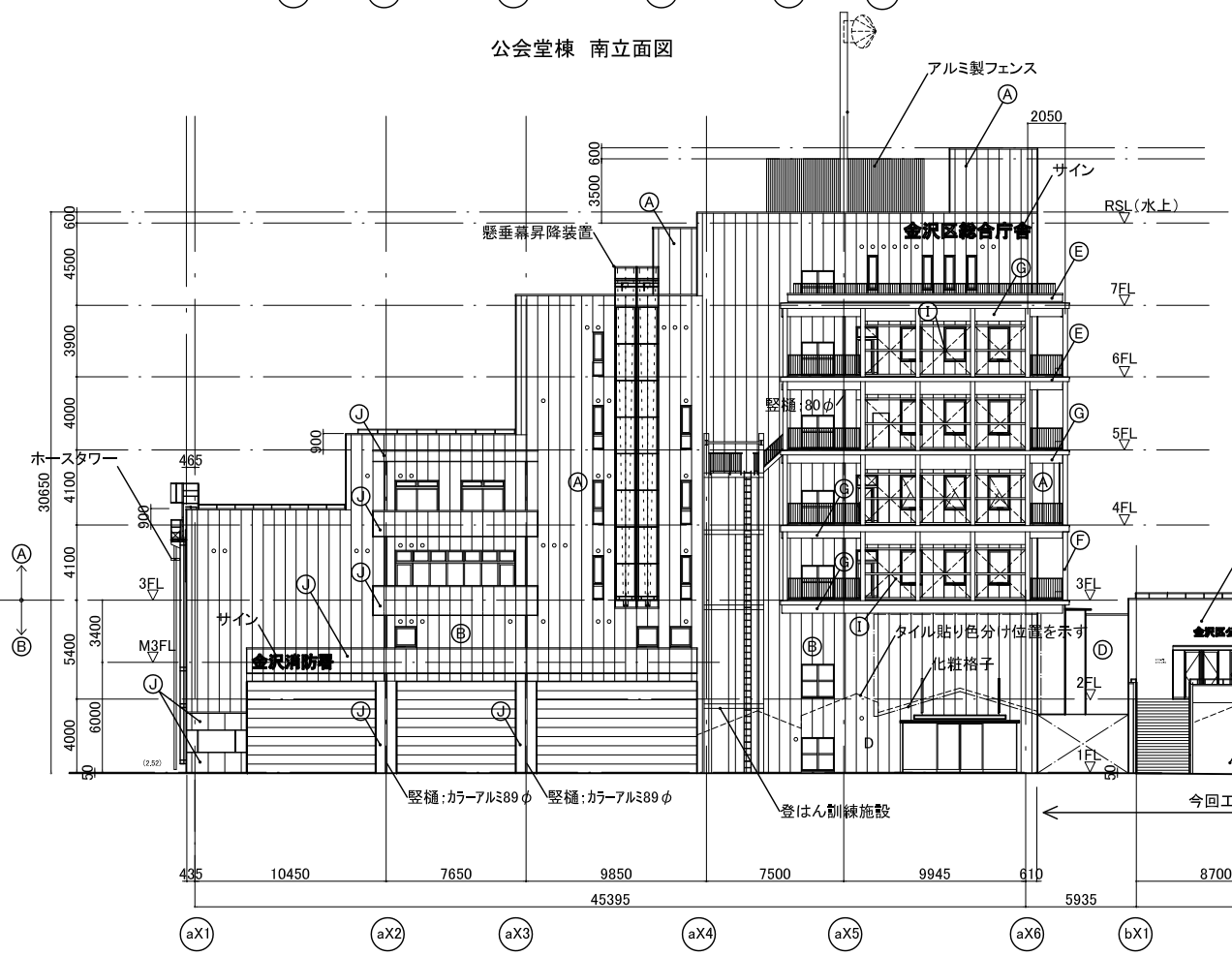
■凡例					
A	化粧リブ付ECP厚75 複層E	F	化粧柱 PC 複層E	K	壁面緑化 プランター
B	タイル貼りECP厚60	G	アルミパネル		
C	亜鉛合金厚0.7 立ハゼ葺き	H	壁樋 カラーアルミ製		
D	炬燵質タイル(50角、100角 模様貼り)	I	日よけ格子 アルミ製		
E	コンクリート打ち出し 複層E	J	ECP厚60 複層E		



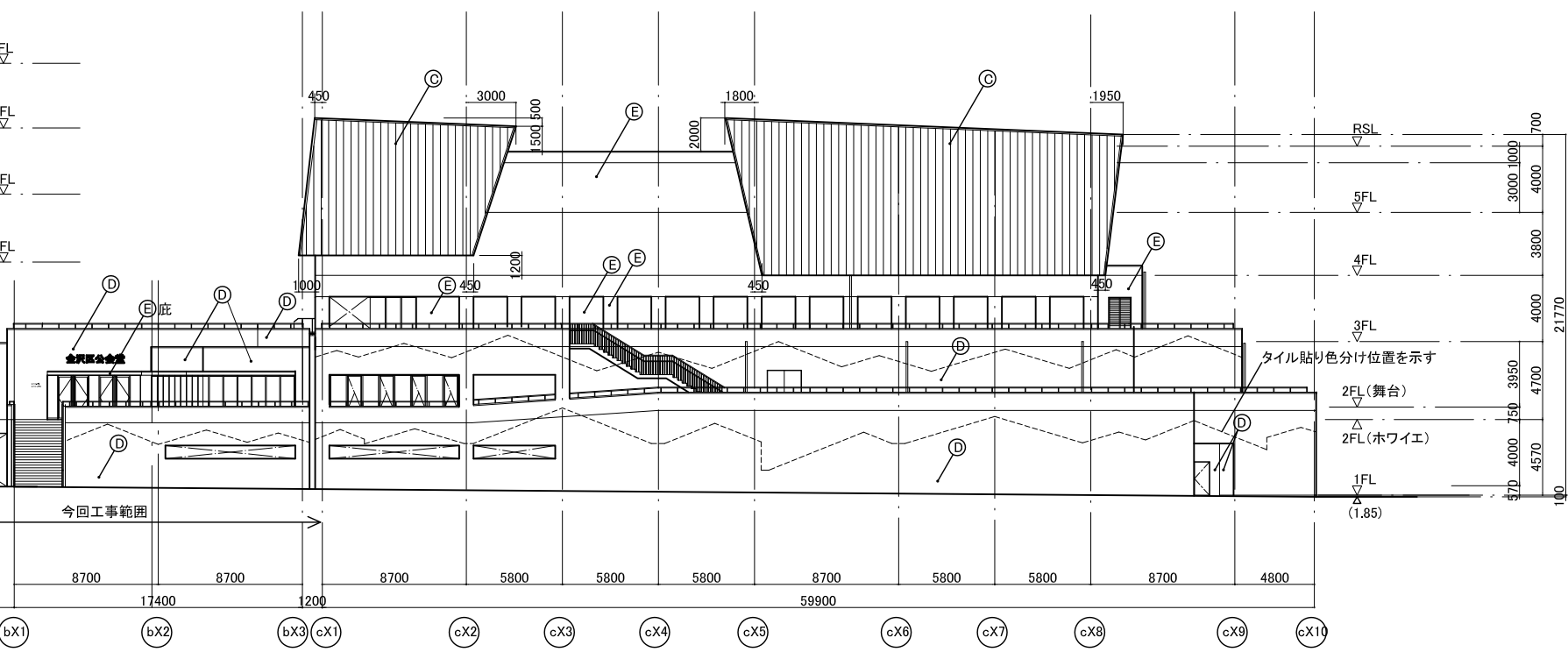
公会堂棟 南立面図



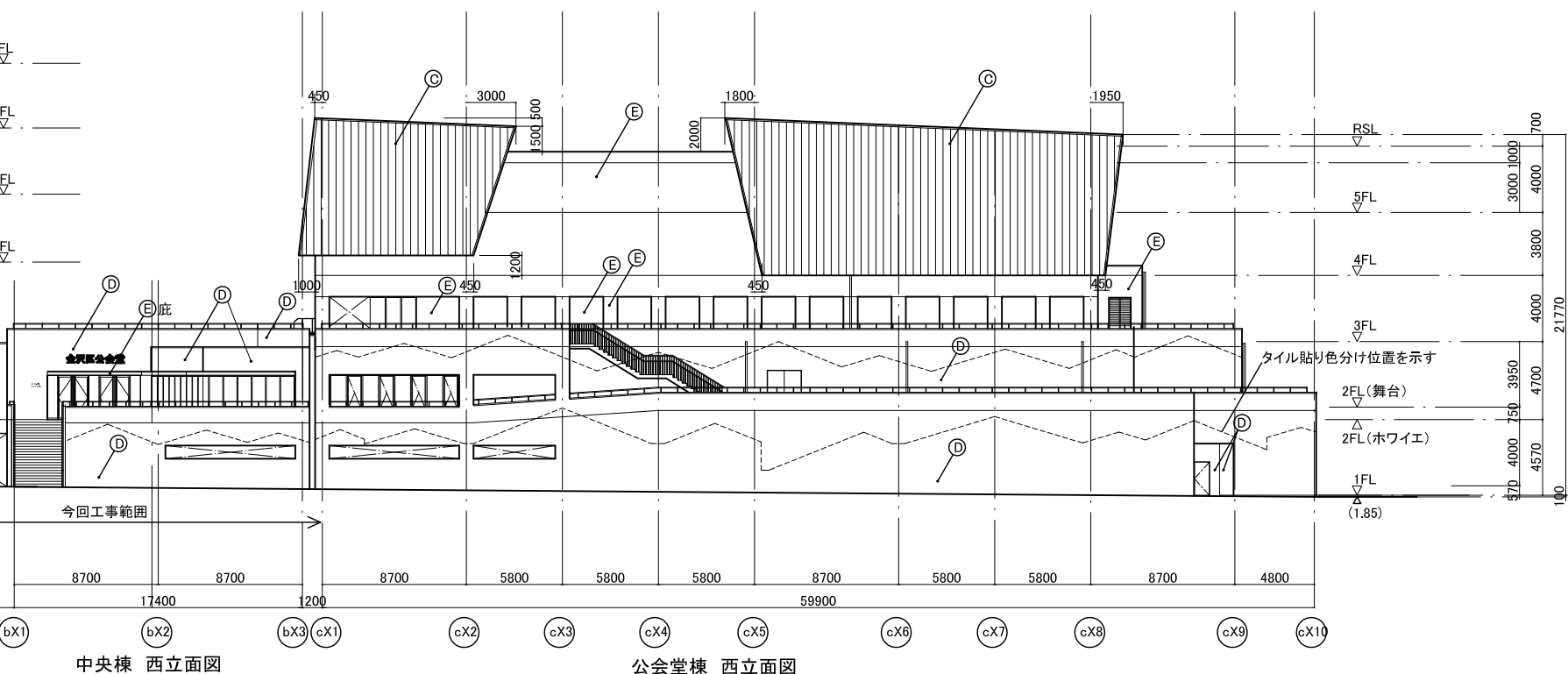
庁舎棟 南立面図



庁舎棟 西立面図



中央棟 西立面図



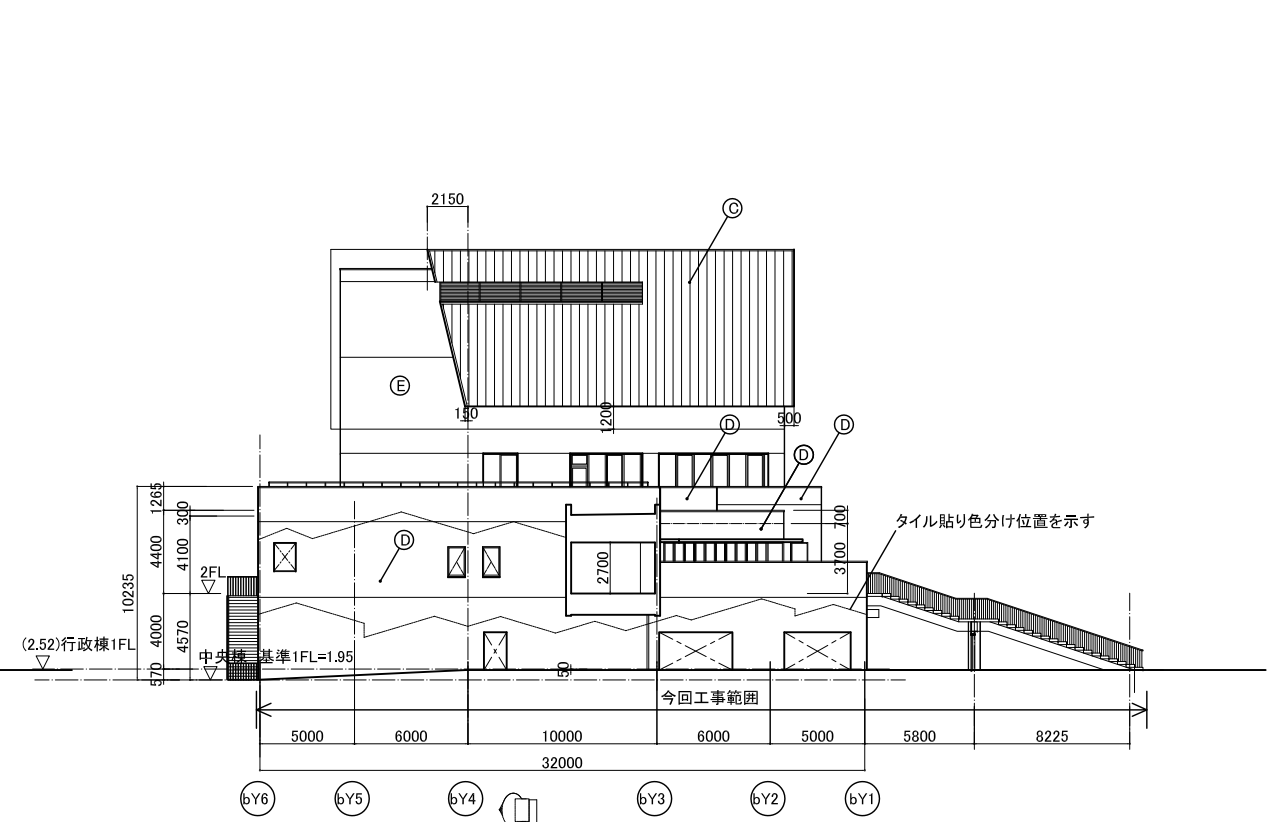
公会堂棟 西立面図

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	図面名称 立面図(1)
設計者 株式会社 国設計	製図者 栗原 隆雄	図面枚数 1/1
	図面番号 A-020	

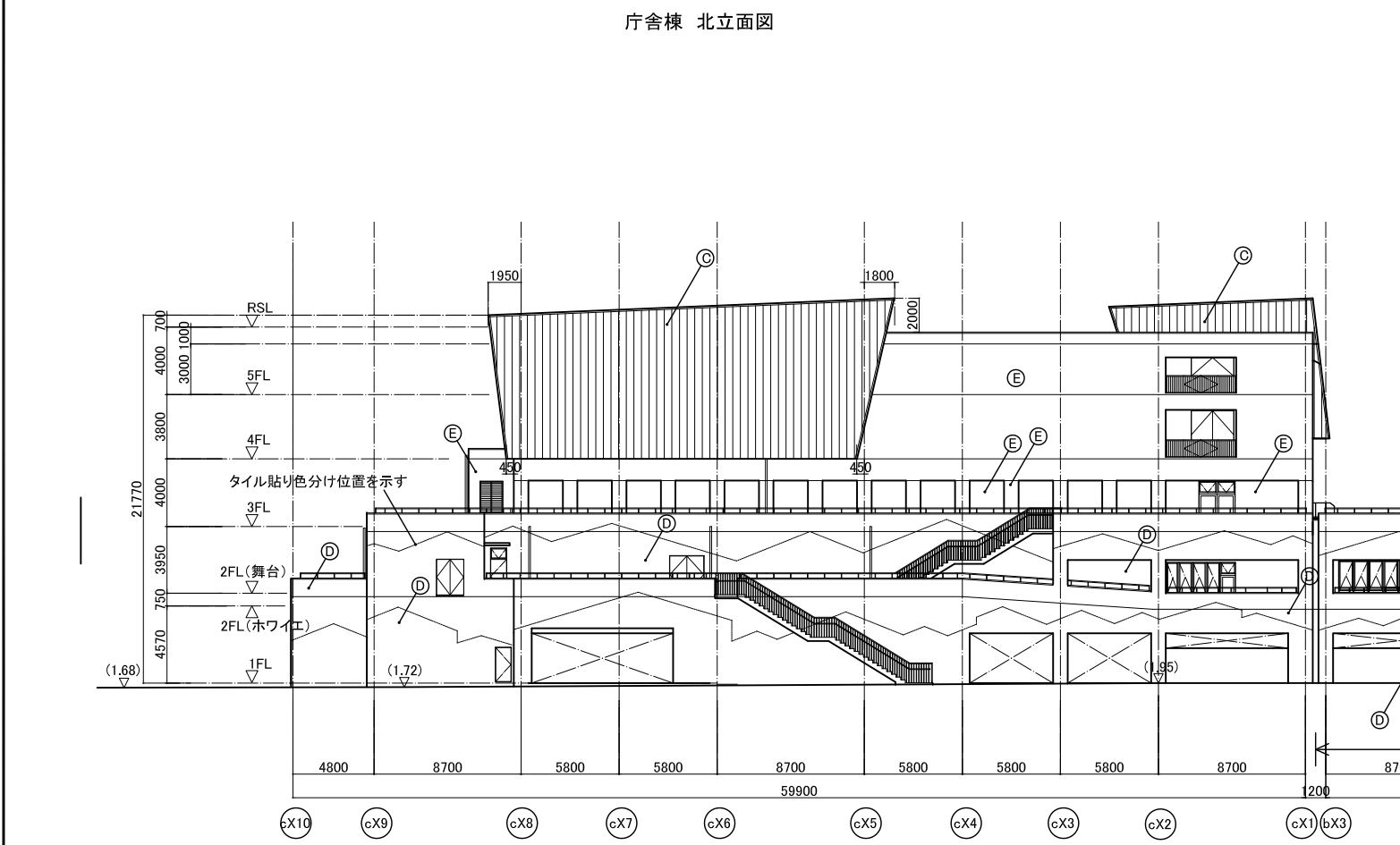
■凡例					
A	化粧リブ付ECP厚75 複層E	F	化粧柱 PC 複層E	K	壁面緑化 プランター
B	タイル貼りECP厚60	G	アルミパネル		
C	亜鉛合金厚0.7 立ハゼ葺き	H	縦樋 カラーアルミ製		
D	炬燵費タイル(50角、100角 模様貼り)	I	日よけ格子 アルミ製		
E	コンクリート打ち放し 複層E	J	ECP厚60 複層E		



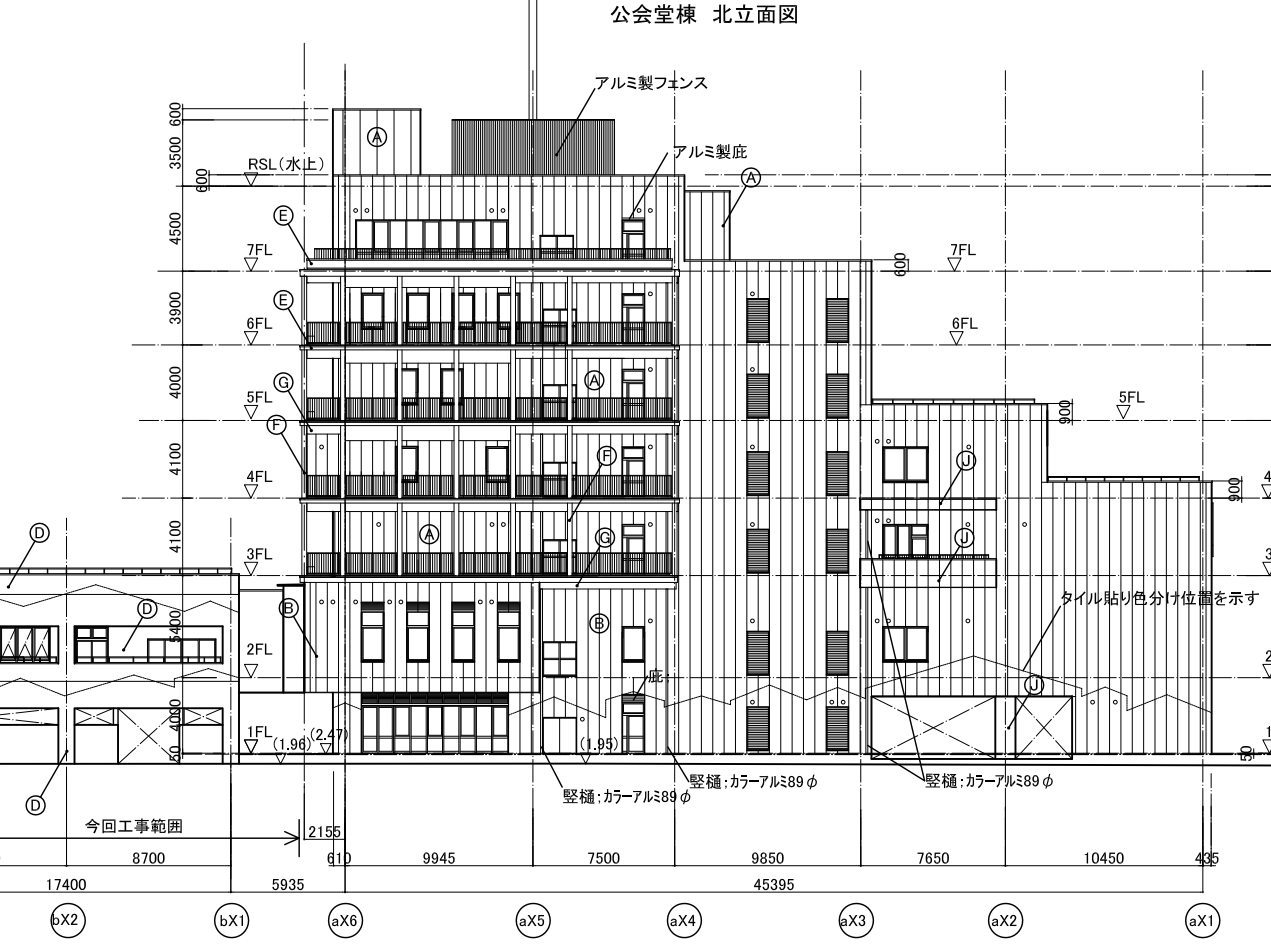
倉舎棟 北立面図



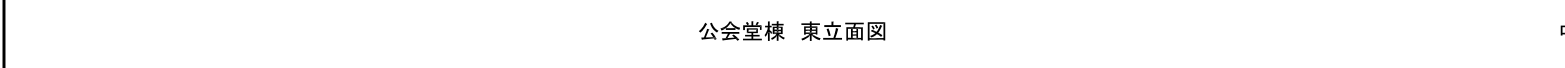
公会堂棟 北立面図



公会堂棟 東立面図



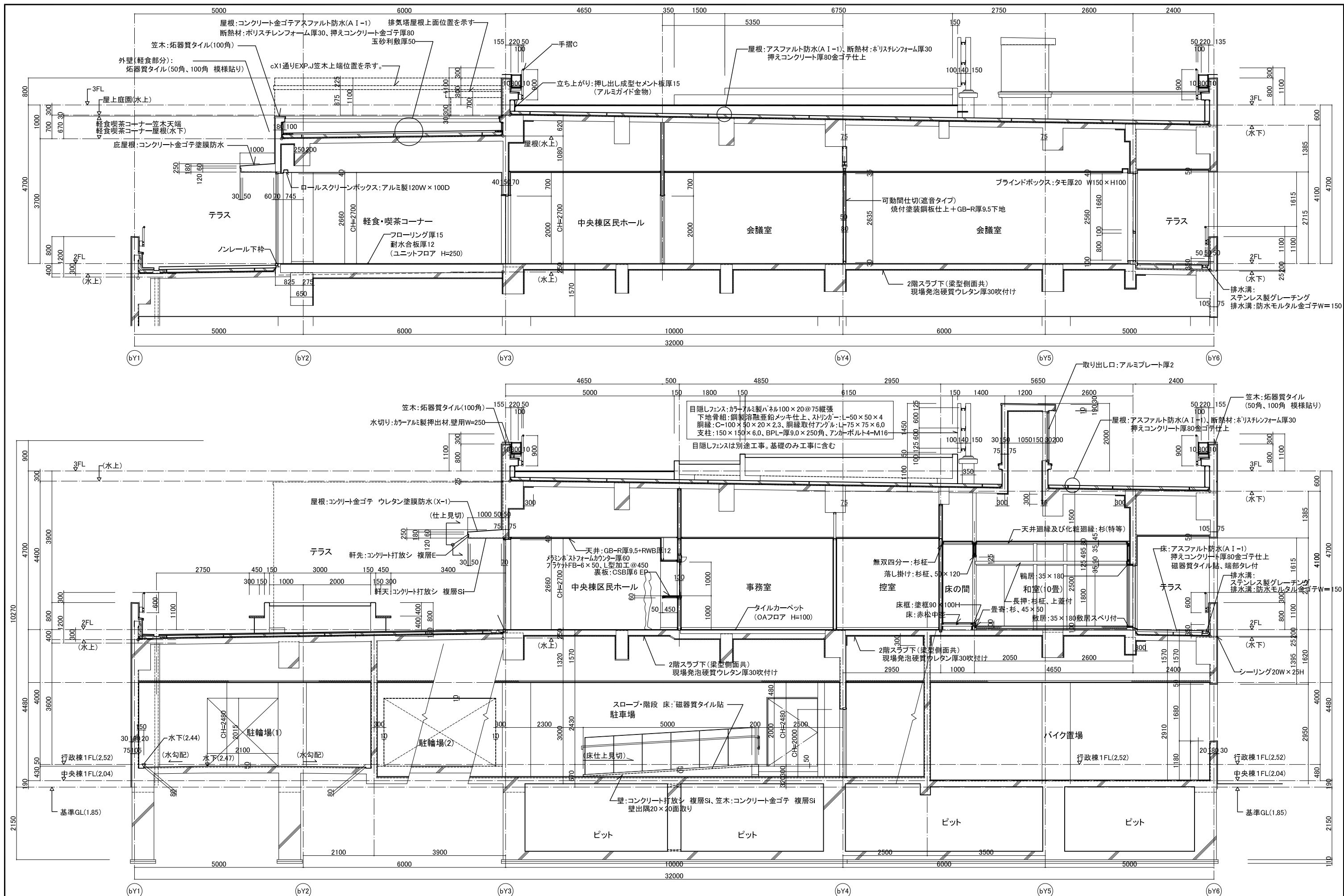
倉舎棟 東立面図



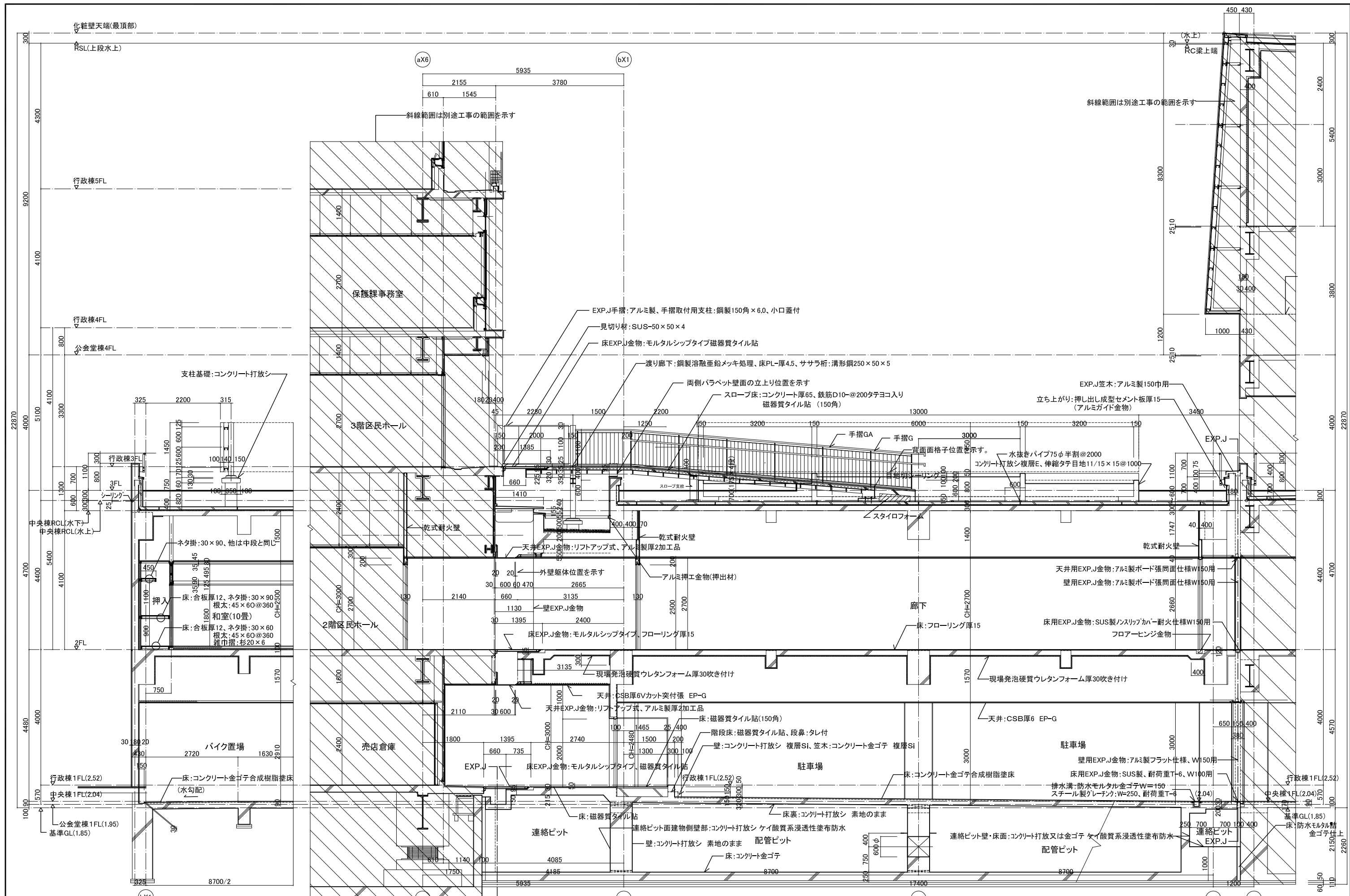
中央棟 東立面図

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)	図面名称 立面図(2)
年月日 平成28年8月	概尺 A1=1/200 A2=1/400	図面番号 A-021	
設計 株式会社 国設計			

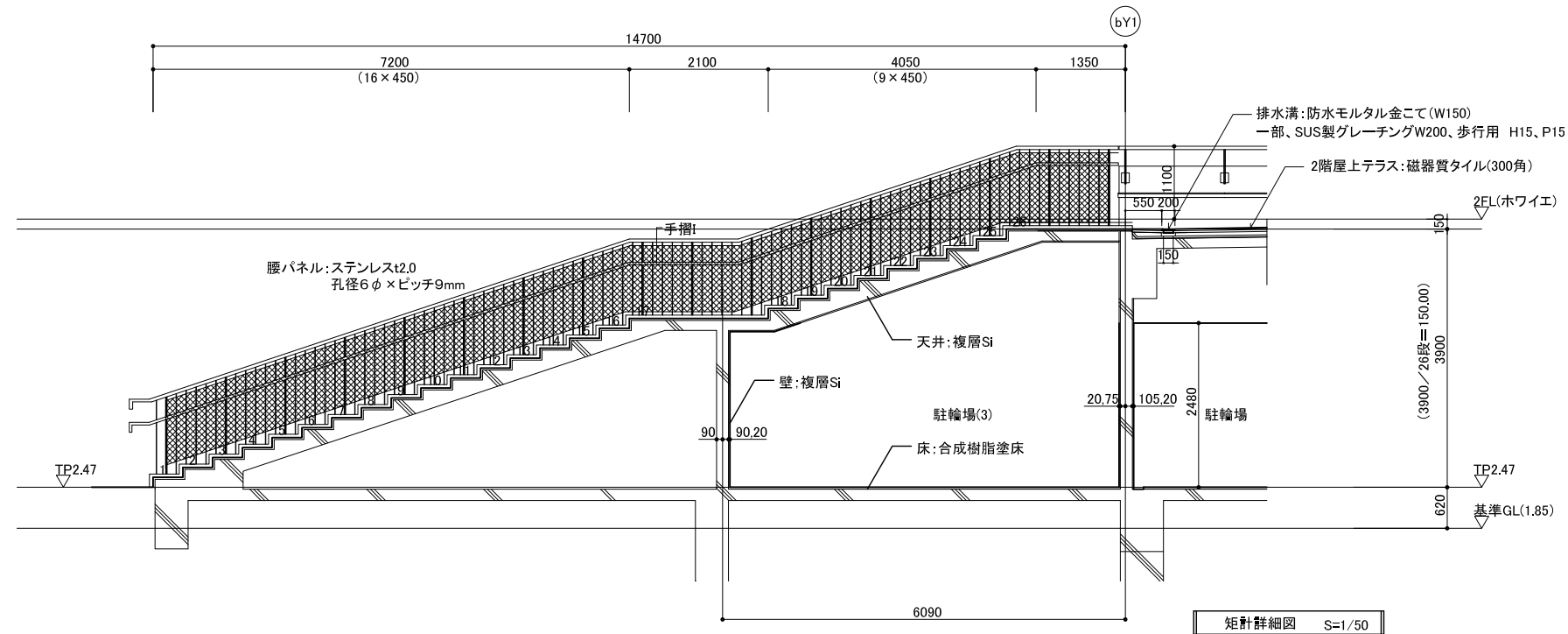




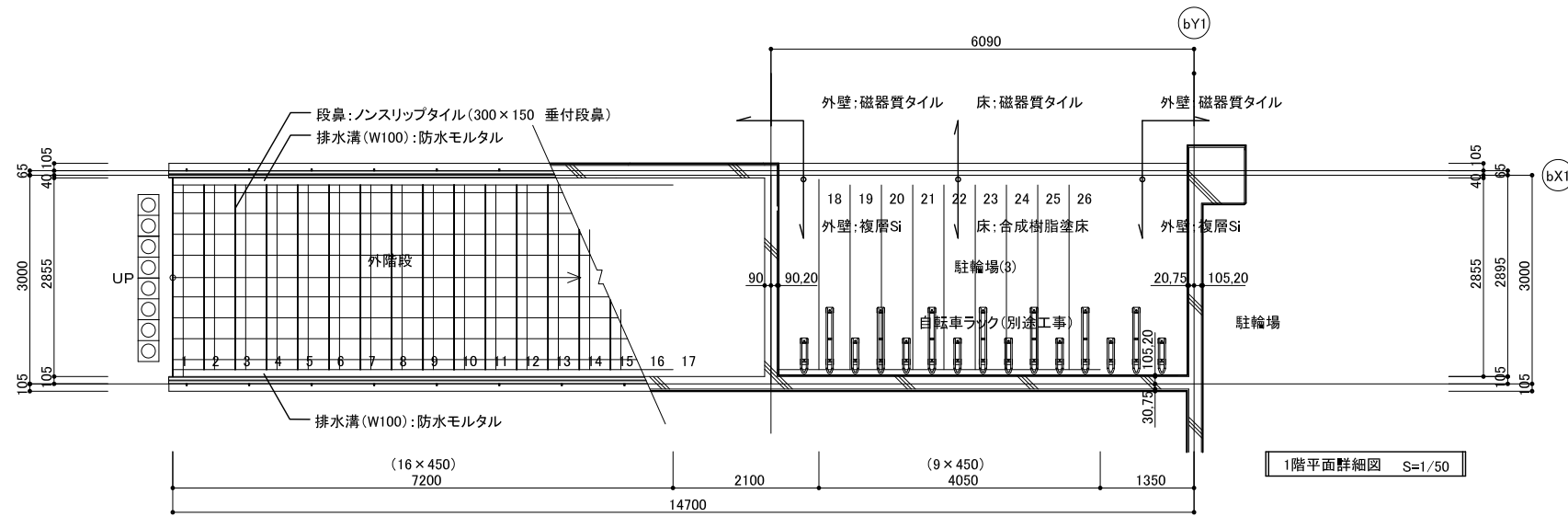
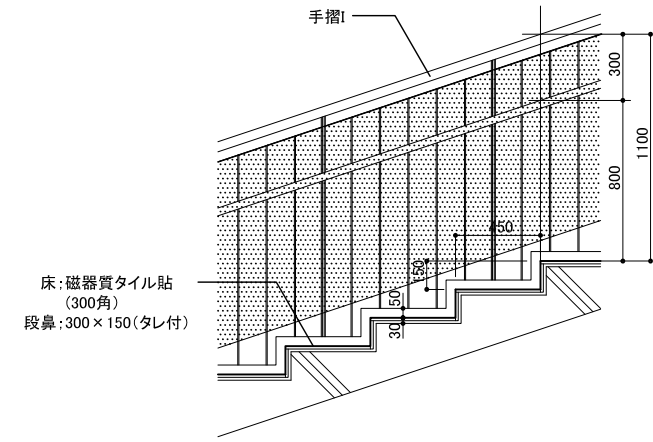
■注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	図面名称 設計詳細図(1)
	設計者 株式会社 国設計	図面番号 A-023	



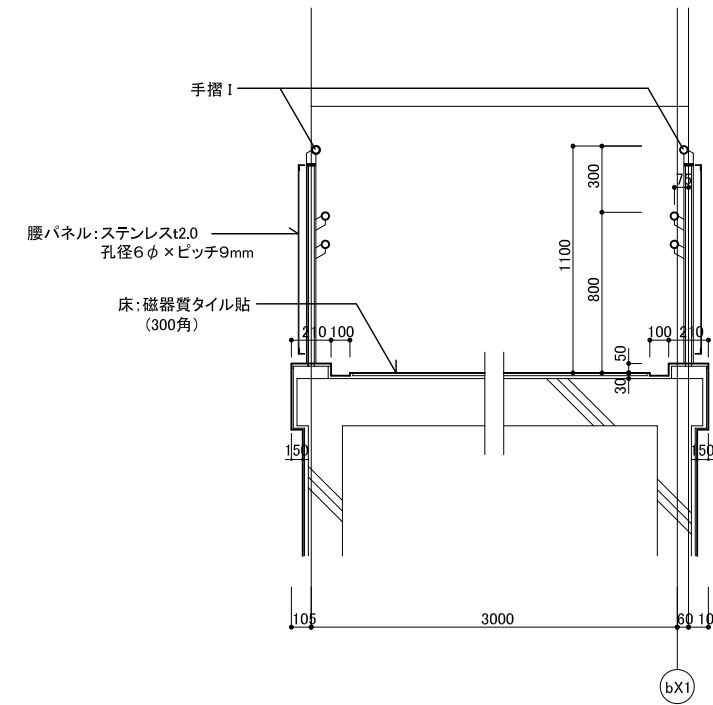
■注記	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/1000 A3=1/1000	図面名称 概計詳細図(2)
	設計者 株式会社 国設計	図面番号	図面枚数	図面番号
				A-024



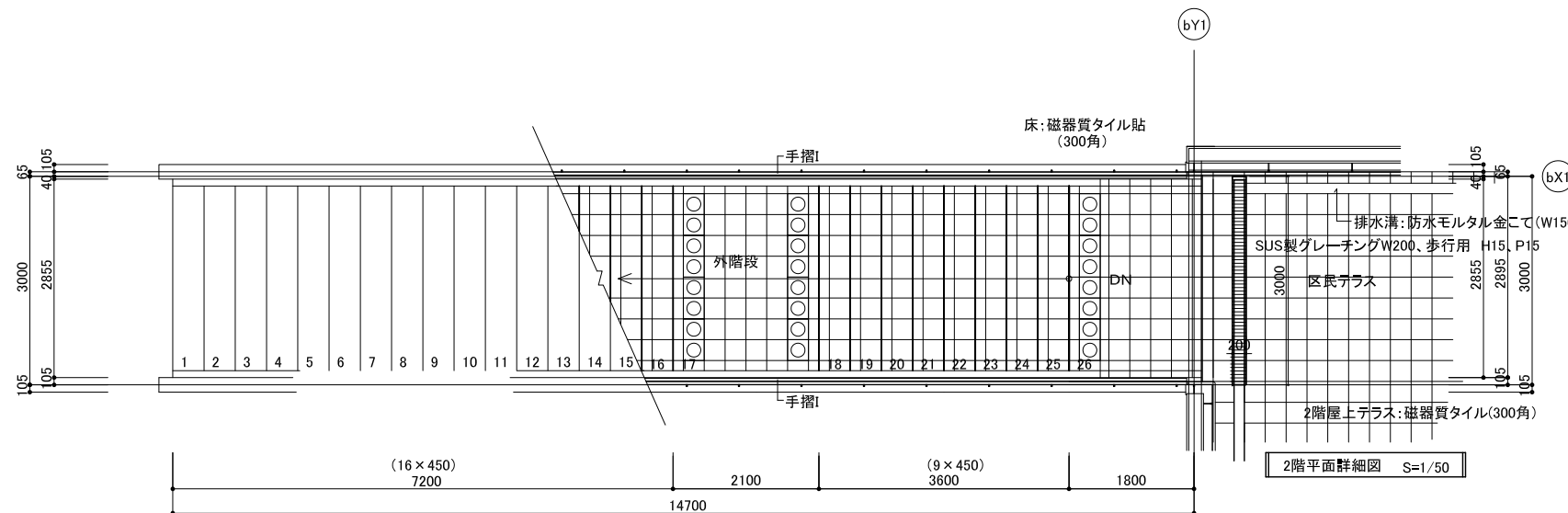
矩形詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50

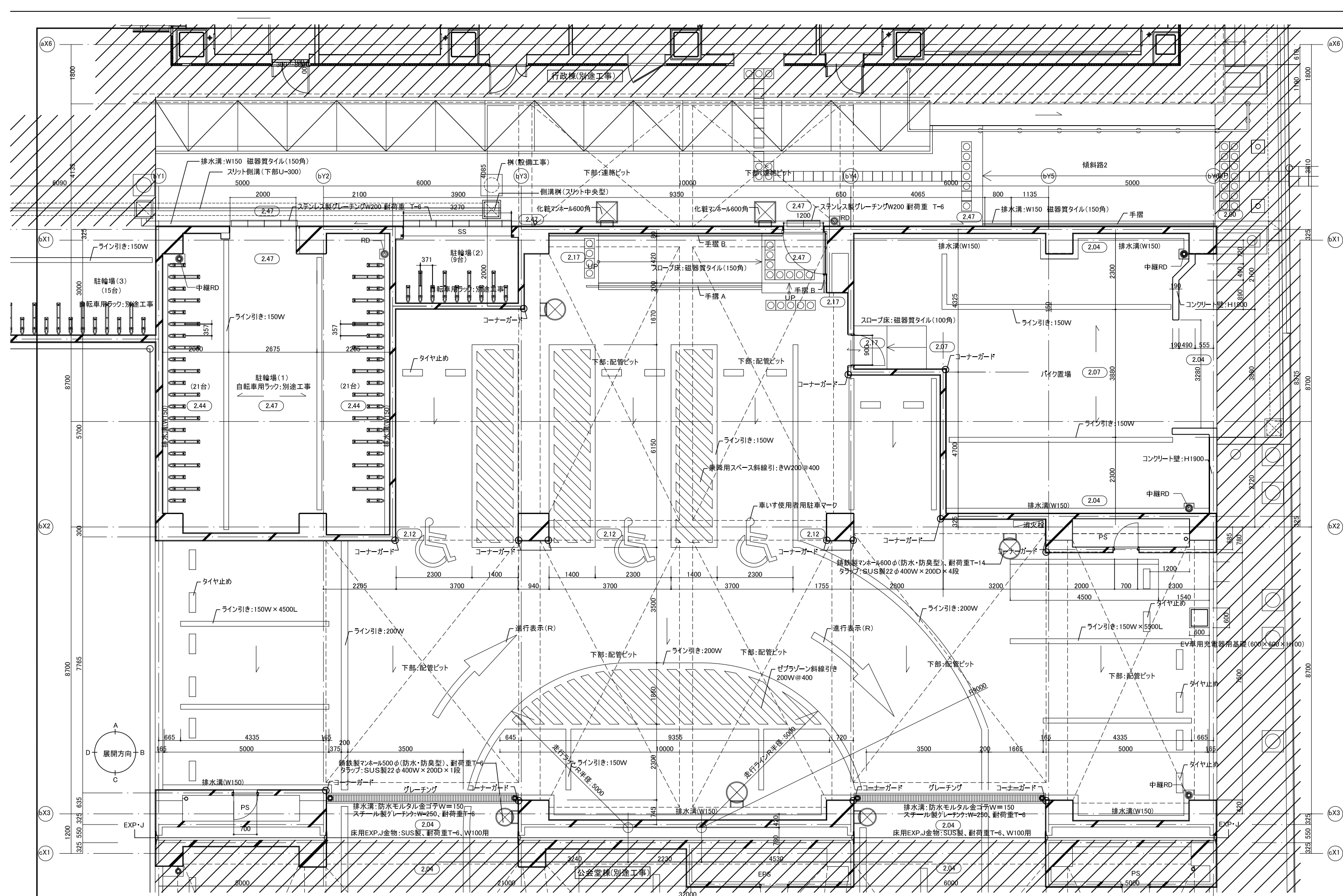


部分詳細図 S=1/20



2階平面詳細図 S=1/50

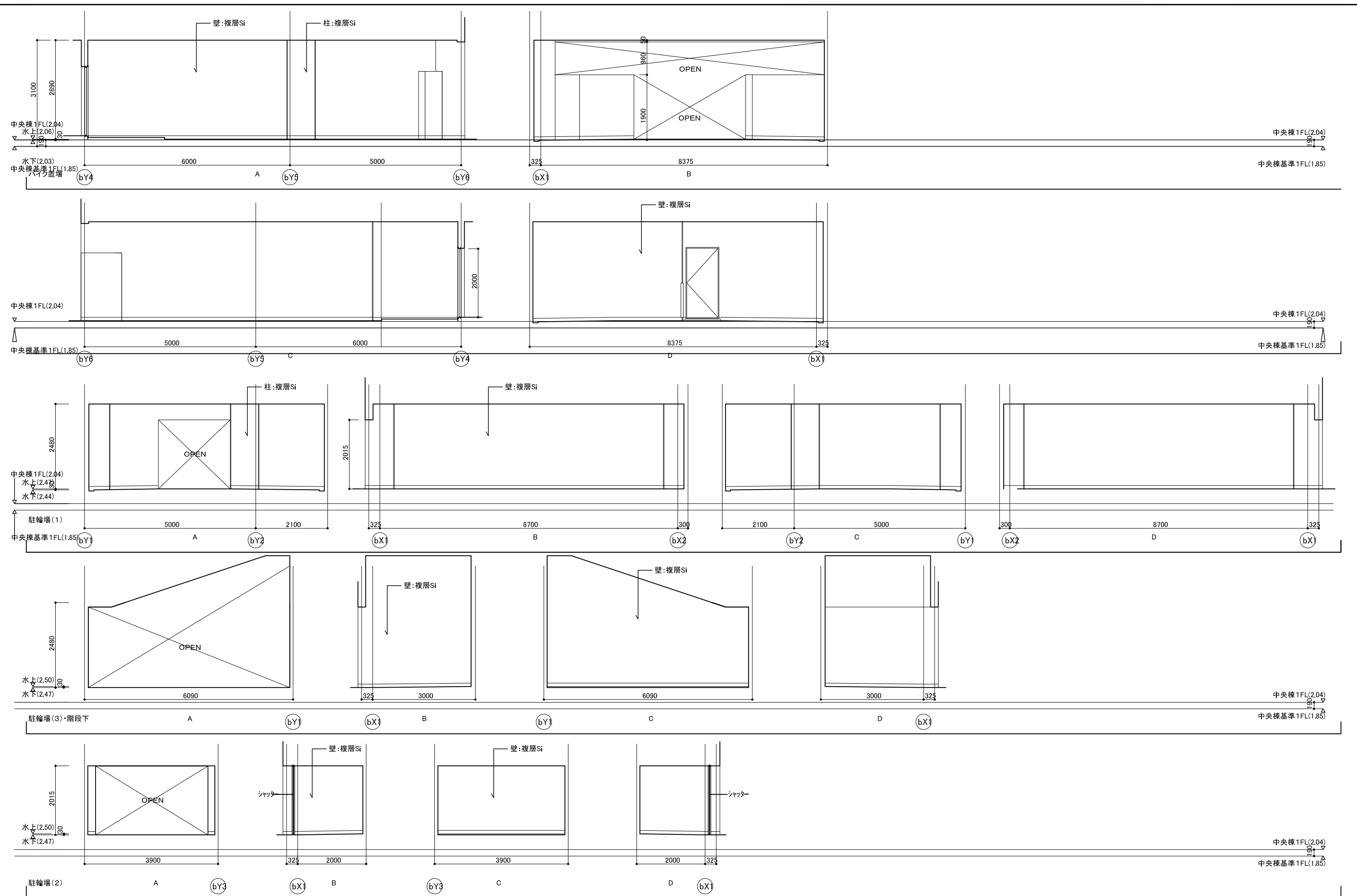
■注記	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)	
	一般建築士	年月日	平成28年8月	縮尺	A1=1/50 A2=1/100
	登録第166404号	設計者	吉村久夫	図面名称	中央外階段詳細図
	株式会社 国設計	枚数	1	図面枚数	1
				図面番号	A-025



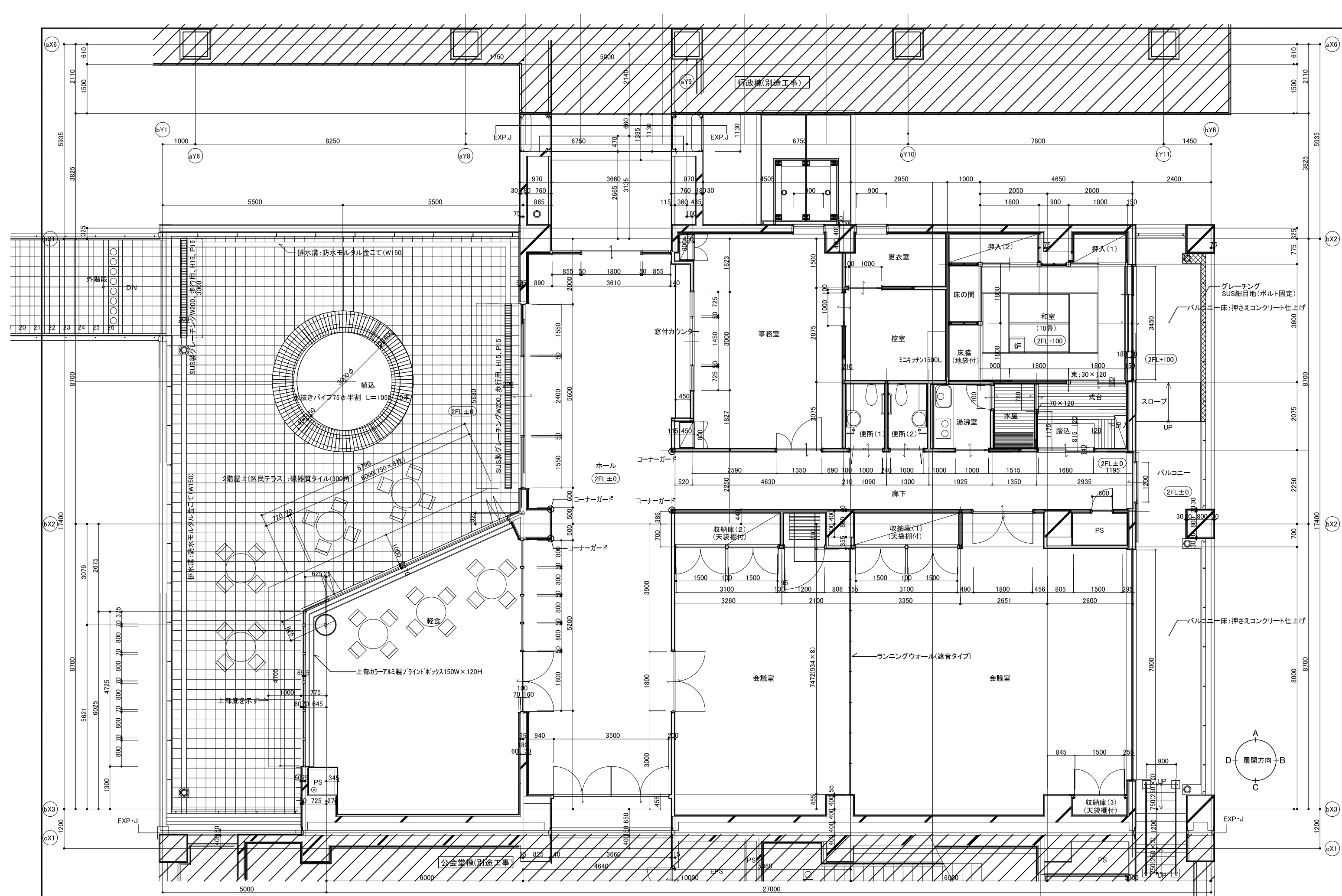
■注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	b16 事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	年月日	平成29年8月	縮尺	A1=1/50 A3=1/100
	図面名称	1階平面詳細図		
	図面番号	種別	完成	図面枚数
株式会社 国設計		原図	1	A-026



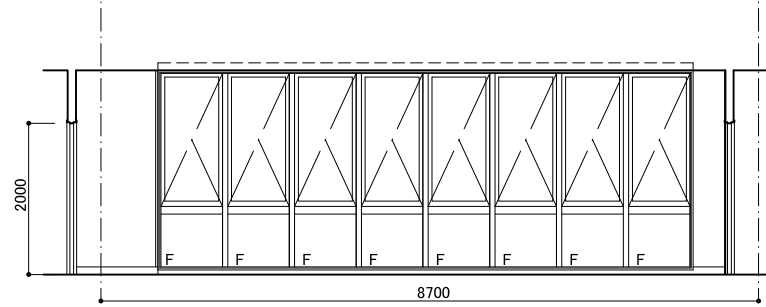
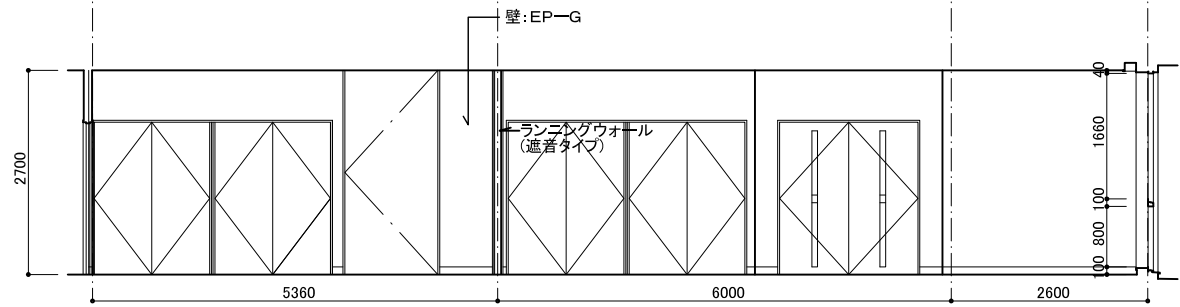




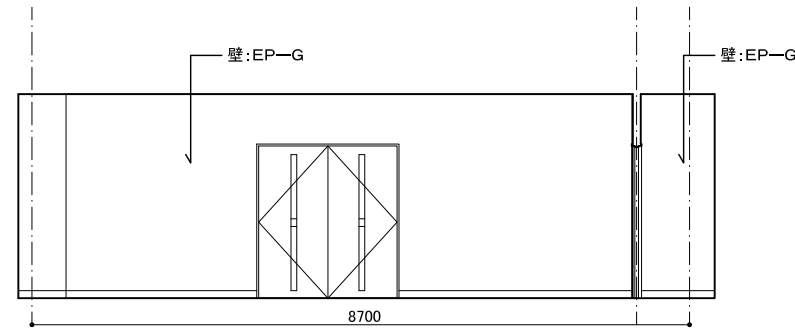
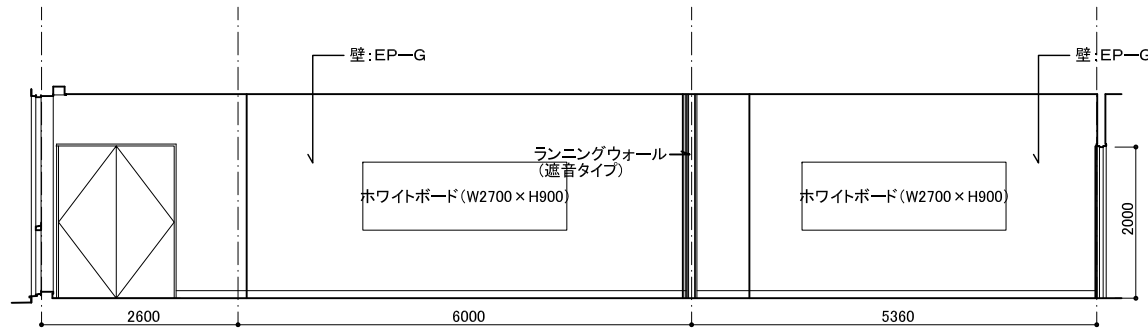
■注記	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)				
	一級建築士		年月日	平成28年6月	縮尺	A1=1/50 A3=1/100	図面名称	1階展開図(2)
	登録第166404号		設計者	株式会社 国設計				
	吉村久夫		図面番号	図面枚数	図面番号	図面番号	A-028	



■注記	管理建築士	横浜市建築局	26	事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	一級建築士	登録第166404号	年月日	平成28年6月	縮尺
	吉村久夫	設計者	株式会社 国設計	図面名称	2階平面詳細図
				種別	図面枚数
				原図	図面番号
					A-029

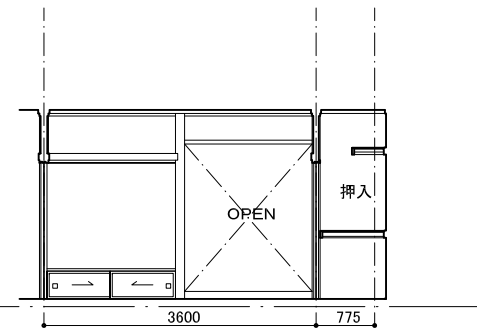
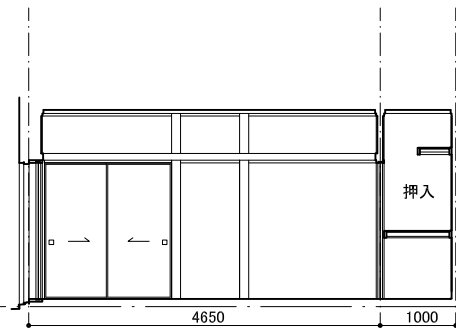
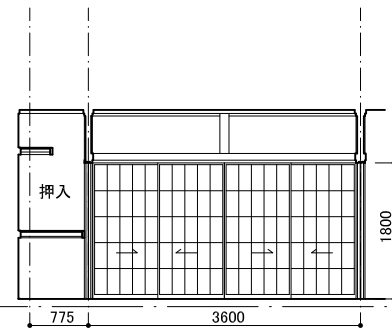
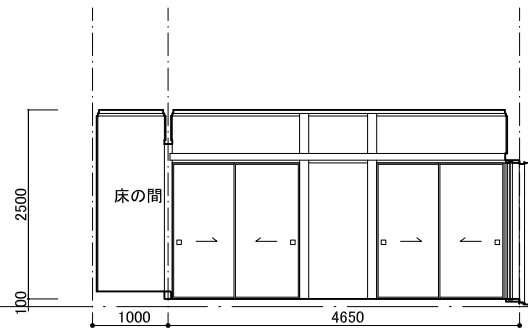


会議室



C

D



和室

A

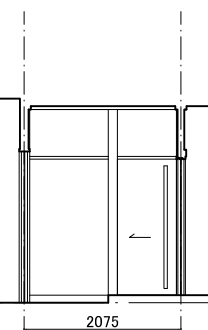
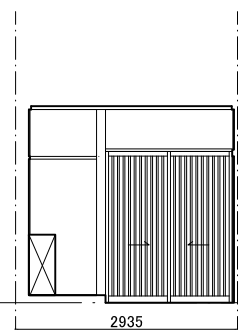
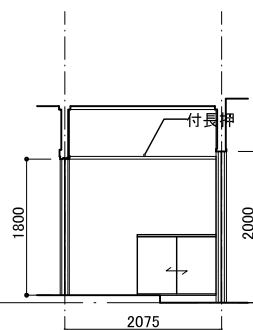
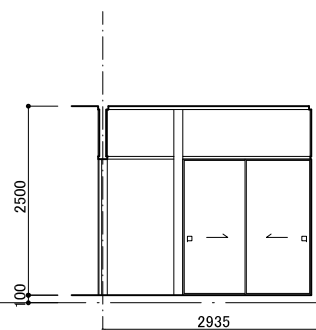
bX2

B

C

D

bX2



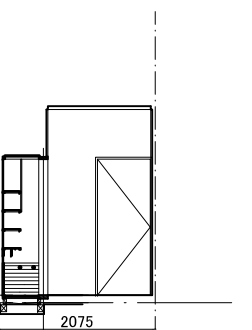
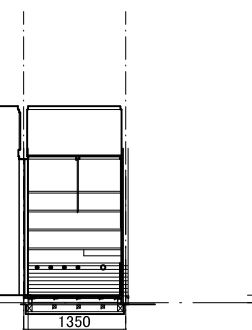
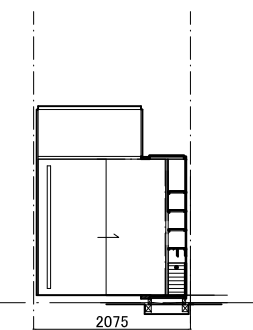
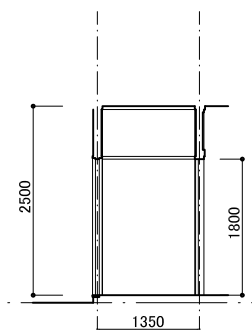
踏込

A

B

C

D



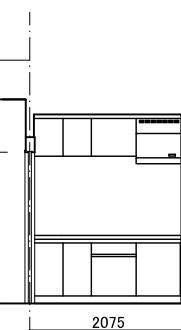
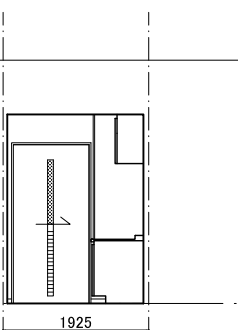
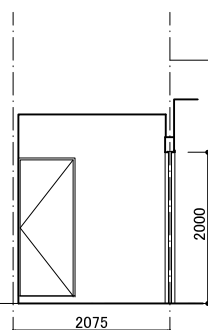
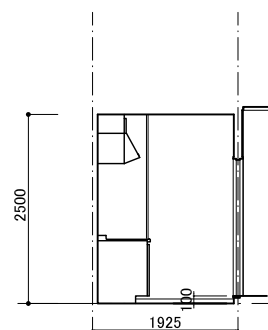
水屋

A

B

C

D



湯沸室

A

B

C

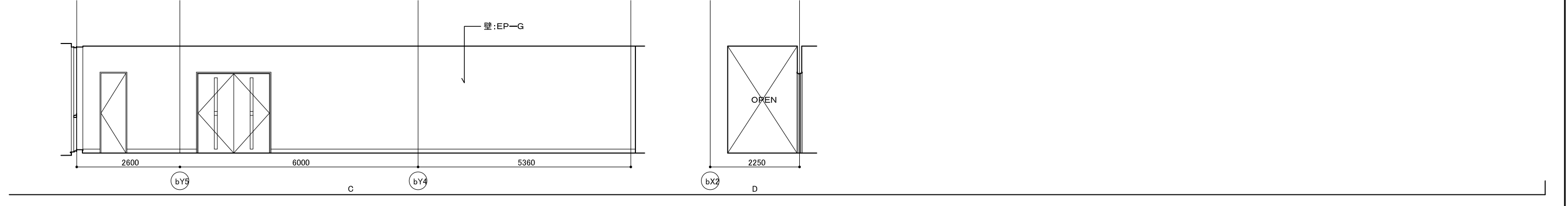
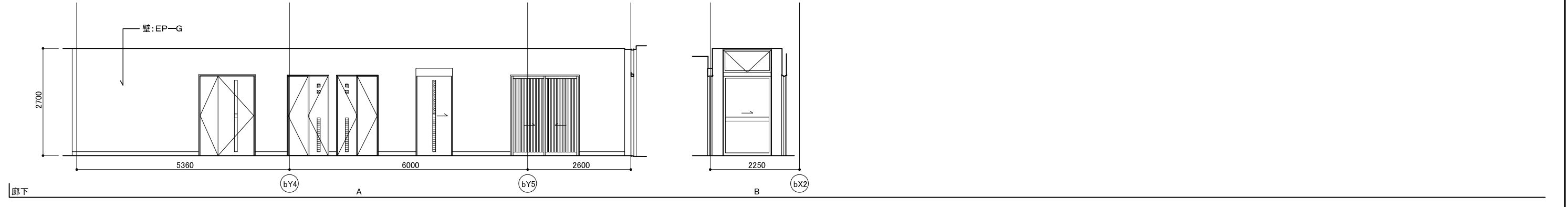
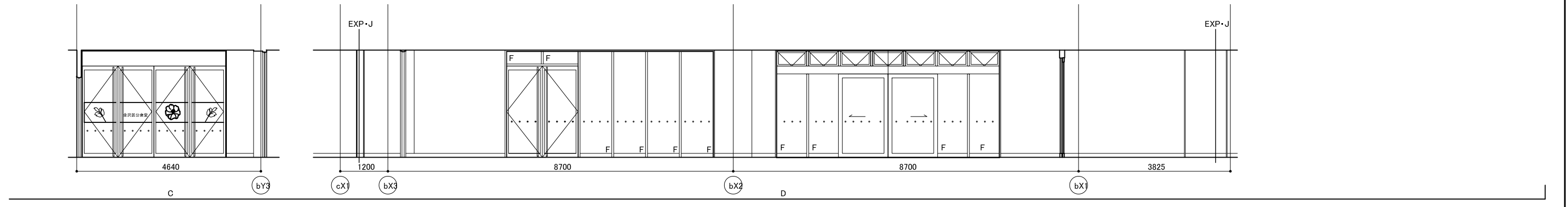
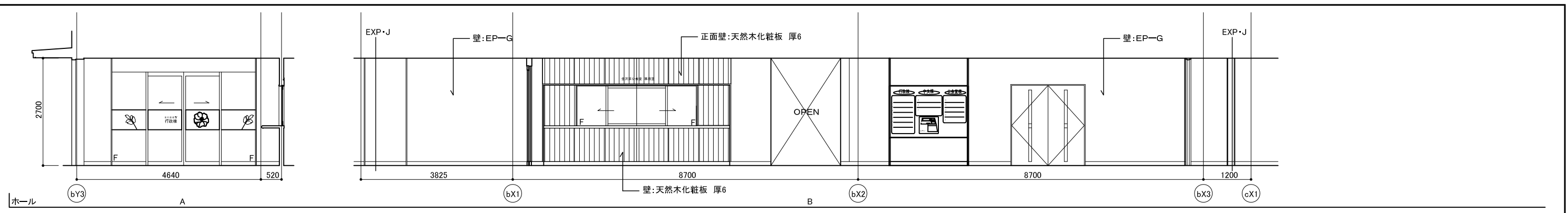
D

■注記

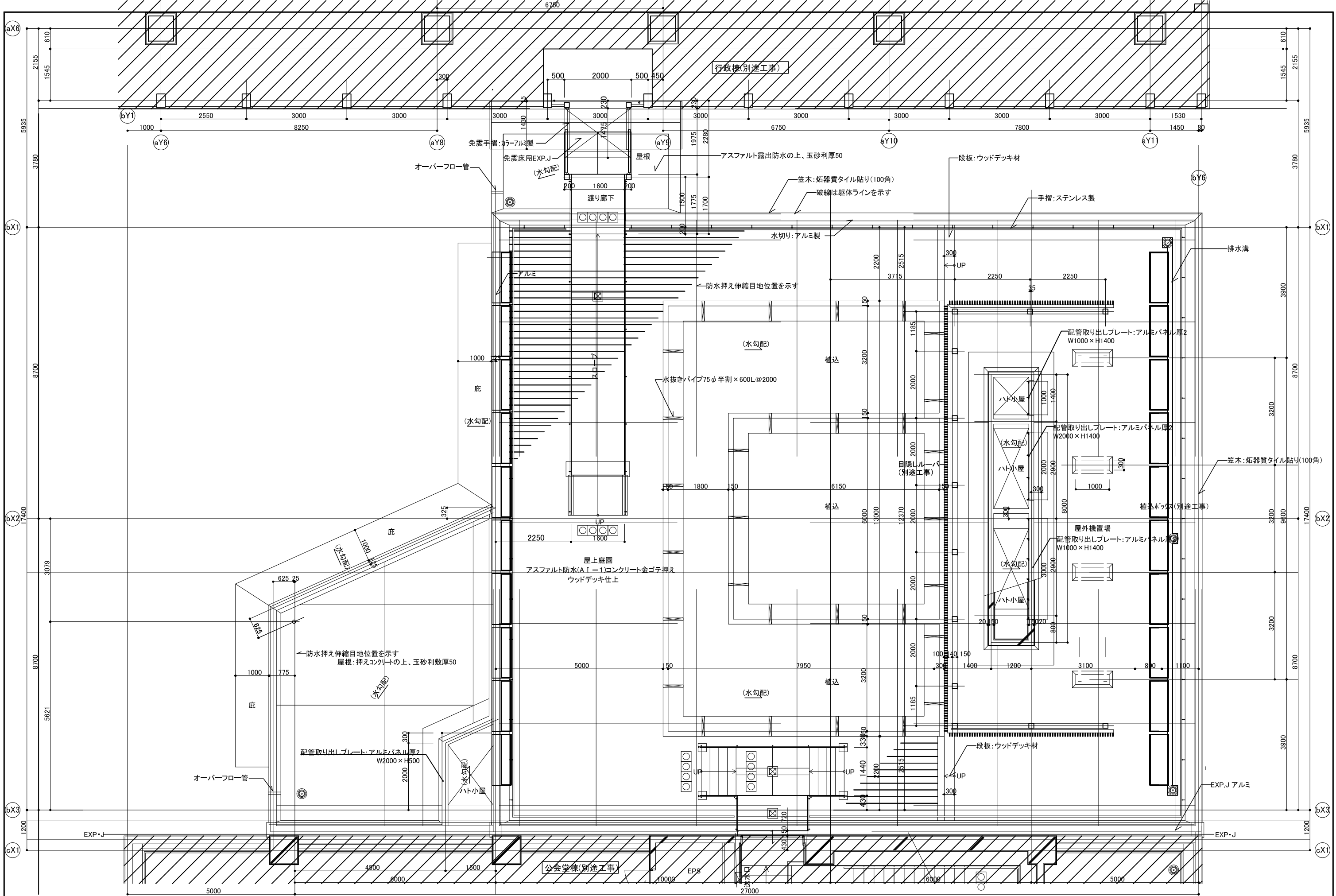
管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	図面名称 2階展開図(1)
設計者 株式会社 国設計	図面枚数	図面番号 A-030

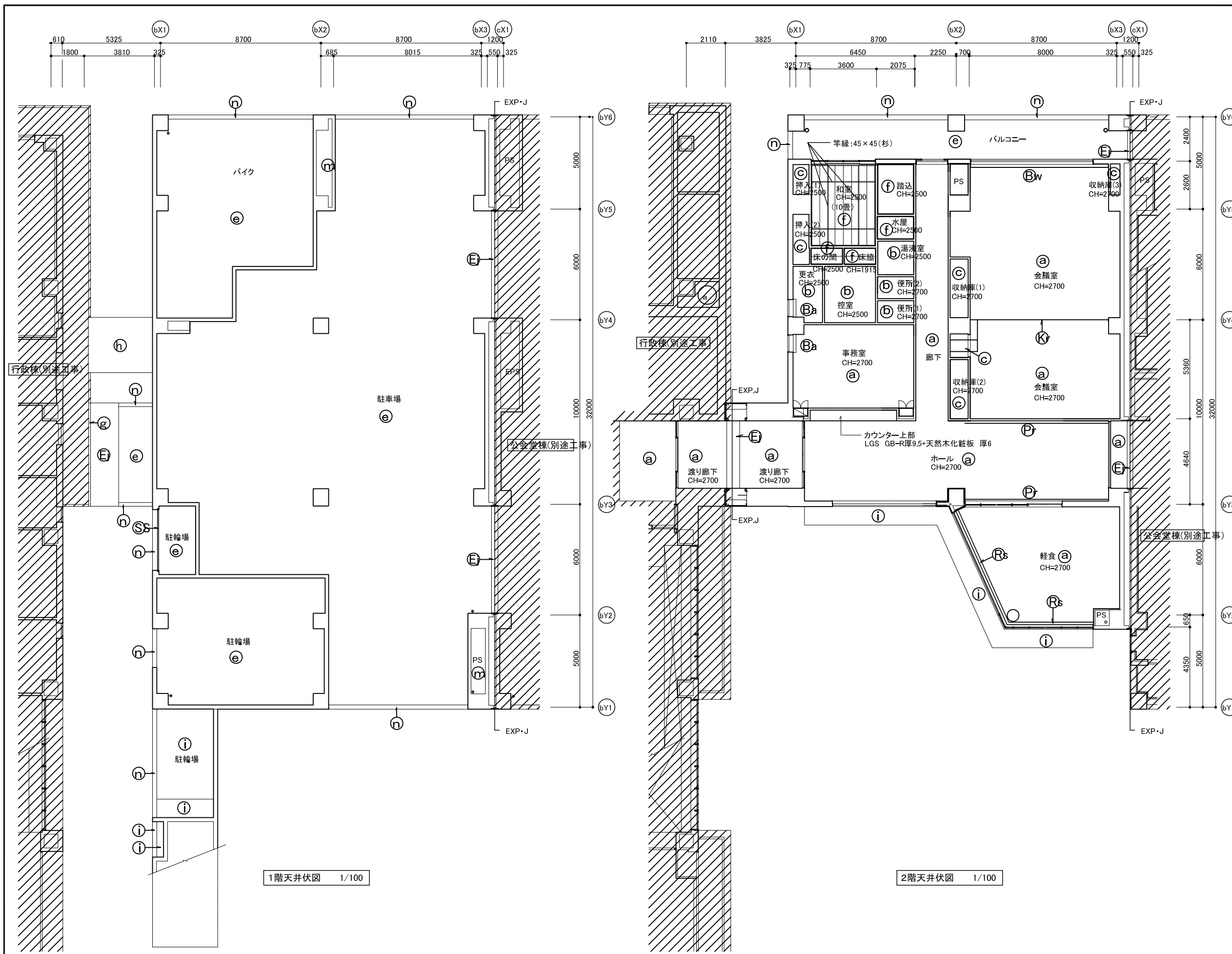


■注記	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)	
	一級建築士	年月日	平成28年8月	概尺	A1=1/50 A3=1/100
	登録第166404号	設計者	吉村久夫	図面名称	2階展開図(2)
		図面番号	図面枚数	図面枚数	図面番号
	株式会社 国設計				A-031



■注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事)
	年月日	平成28年8月	縮尺	A1=1/50 A3=1/100
	図面名称	2階展開図(3)		
	設計者	株式会社 国設計	図面番号	A-032





1階天井伏図 1/100

2階天井伏図 1/100

符号・凡例	仕上・名称
(a)	GB-R厚9.5+RWB厚12
(b)	GB-D厚9.5
(c)	GB-R厚9.5 VC
(d)	GB-S厚9.5
(e)	CSB厚6 Vカット突付張 EP-G
(f)	GB-D(和室)厚12.5
(g)	アルミ見切り(W100)
(h)	アルミパネル
(i)	コンクリート打放し 複層E
(m)	コンクリート打放し 素地
(n)	磁器質タイル
(Bw)	ブラインドボックス(木製)W150×H120
(Ba)	ブラインドボックス(アルミ)W150×H120
(K)	可動間仕切りレール
(Pr)	ピクチャーレール(廻線兼用)
(Rs)	ロールスクリーンボックス(アルミ)
(Ss)	シャッター
(E)	EXP.J金物

天井点検口(1階+2階)

開口寸法	数量
600×600	34

空調関係天井開口補強(1階+2階)

開口寸法	数量
150×150	1
300×300	11
450×450	50
600×600	75
900×900	34
1300×1300	2
1200×300	50